

ADDZEST

CD/MD/AV/TEL-LINK コントロール、
DSP/EQ 内蔵 AM/FM チューナー付
CD/MD デッキアンプ

DMX960Z

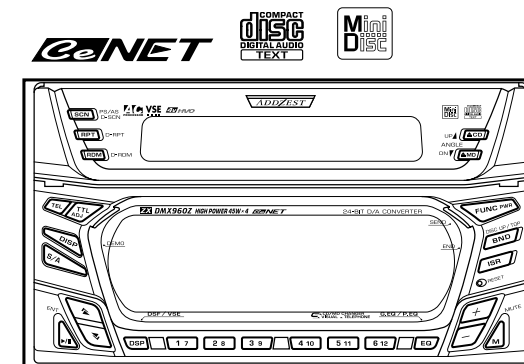
取扱説明書

クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ..... ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

この取扱説明書には、本機で操作するCDチェンジャー、MDチェンジャー、テレビの操作説明も含まれています。CDチェンジャー、MDチェンジャー、テレビの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目次

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

主な特長	5
ご使用前に	6
安全に正しくお使いいただくために	6
安全上のご注意	7
取扱上のご注意	10
本体のお手入れについて	10
ディスプレイについて	10
液晶画面について	10
エラー表示について	10
スロープコンソールについて	10
MDについて	11
CDまたはMDの演奏について	11
CDについて	11

本機の操作

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能を説明しています。

各部の名称とはたらき

本体部	12
システムチェック時のディスプレイ表示	14
電源ON/OFF時のディスプレイ表示	15
各種設定/調整時のディスプレイ表示	16
モード別ディスプレイ表示	20
別販リモコン(RCB-130)の使いかた	24

基本の操作

電源を入れる	26
モードを選ぶ	26
スロープコンソールの角度を調整する	27
音量を調節する	27
音を消す(ミュート)	27
時刻を合わせる	28
バランス/フェダーを調整する	29
リスニングポジションを調整する	30
スぺアナパターンを切り換える	31
上部ディスプレイ表示を切り換える	33
タイトル表示を切り換える	33
タイトルをスクロールさせる	34
スクリーンセーバーを切り換える	35
マルチキャラクター表示を切り換える	35
アゼストデモを表示する	36

ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ	37
受信バンドを切り換える	37
自動選局する(シーク選局)	37
手動選局する(マニュアル選局)	37
プリセット選局する	38
プリセットメモリーする	38
自動メモリーする(オートストア機能)	39
放送を確かめる(プリセットスキャン)	39
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	39

CD(MD)を聴く

CD(またはMD)を入れる	40
CD(またはMD)を取り出す	41
すでに入っているCD(またはMD)を聴く	42
演奏を止める(一時停止)	42
曲を選ぶ	42
早送り/早戻しする	43
最初の曲から聴く(トップ機能)	43
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	43
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	43
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	43

ACプロセッサーを操作する

ACプロセッサーにできること	44
スタンダードモードとプロモードを切り換える	45
DSFの操作(スタンダードモード)	46
DSFメニューを選ぶ	46
DSF効果をON/OFFする	46
エフェクト(EFFECT)を調整する	47
G.EQの操作(スタンダードモード)	48
G.EQメニューを選ぶ	48
G.EQ効果をON/OFFする	49
G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	49
VSEの操作(プロモード)	50
VSEメニューを選ぶ	50
VSE効果をON/OFFする	51
VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	51
P.EQの操作(プロモード)	52
P.EQメニューを選ぶ	52
P.EQ効果をON/OFFする	52
P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	54
VSE/EQメニューにタイトルをつける	56

タイトルをつける

タイトルを入力する	57
イーजीインプットをする	58
タイトルを削除する	59

設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ	60
エクストラアウト出力の音量を調整する(EXTRA VOL)	60
エクストラアウト出力を設定する(EXTRA OUT)	61
スペクトラムアナライザーの感度を設定する(ANA SENS)	62
スペアナ表示の速さを設定する(ANA SPEED)	62
メッセージを表示させる(MESSAGE)	63
ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)	63
タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)	64
FMダイバーシティーを設定する(FM DIVER)	64
チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)	65
TVエリアを設定する(TV AREA)	66
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)	67
電話の割り込みを設定する(TEL-SP)	67
時計/モード表示を設定する(DISP SELECT)	68

次ページに続く➡

目次

外部機器の操作

本機とスピーカーの他に、別販品のCDチェンジャー、MDチェンジャーやTVチューナーを接続したときにお楽しみいただける機能を説明しています。

CD/MDチェンジャーの操作

チェンジャーモードを選ぶ	69
聴きたいCD(またはMD)を選ぶ	70
曲を選ぶ	70
早送り/早戻しをする	71
演奏を止める(一時停止)	71
最初の曲から聴く(トップ機能)	71
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	71
聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏)	71
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	72
1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	72
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	73
全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	73

テレビを見る

TVモードを選ぶ	74
受信バンドを切り換える	74
自動選局する(シーク選局)	75
手動選局する(マニュアル選局)	75
プリセット選局する	75
プリセットメモリーする	75
自動メモリーする(オートストア機能)	76
放送を確かめる(プリセットスキャン)	76
ステレオ/モノラル音声を切り換える	77
メイン/サブ音声を切り換える	77
ビデオを見る	77

携帯電話機を操作する

電話モード時のディスプレイ表示	78
電話をかける(スーパースピードダイヤル)	79
通話音量を調整する	79

携帯用オーディオを聴く(アクセサリモード)

アクセサリモードにする	80
AUX入力ユニット接続のしかた	80

その他

システムアップについて	81
CeNETケーブルについて	82
故障と思われる前に	83
エラー表示について	84
仕様	85
アフターサービスについて	86

主な特長

本機は、AM/FMラジオとCD/MDデッキを内蔵し、別販のCDチェンジャー、MDチェンジャーまたはTVチューナーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の2DINセンターユニットです。

フロントパネル

- CD部とMD部を上下に分割したスロープコンソール機構
- 表示部を見やすい角度に調整できるスロープ角度調整機能

表示部

- 車内を多彩なカラーで演出する6色カラー蛍光表示管を採用
- ディスプレイをグラフィカルに演出する、8種類のパターンを表示するスペクトラムアナライザーとマルチキャラクター表示

ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、どのモードからでもワンタッチで選局するISR機能
- FMダイバーシティチューナー搭載
- FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリー局を順に受信するプリセットスキャン機能
- チューナーエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能

CD/MDプレーヤー部

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能。
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能

CD/MDチェンジャーコントロール部(別販品接続時)

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納しているディスクの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

TVチューナーコントロール部(別販品接続時)

- プリセットが簡単なオートストア機能で、TV1:6局、TV2:6局、合計12局をメモリー(エリアセレクト有)
- メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

タイトル入力機能

- ラジオやTVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能

TEL-LINKユニットコントロール(別販品接続時)

- 携帯電話のハンズフリー通話を実現します。
- 携帯電話機のダイヤルメモリーを呼出して電話をかけるスーパースピードダイヤル機能

ACプロセッサー部

- 5種類のベーシック音場メニューを選べるデジタル・サウンド・フィールド(DSF)、および6種類のベーシックパターンと6種類のユーザーパターン、各種の設定で自由に音質をコントロールできるグラフィックイコライザー、バーチャル・スペース・エンハンサー(VSE)、パラメトリックイコライザー
- きめ細かく調整できる5つのリスニングポジション機能

CeNET(Clarion Entertainment Network:シーイーネット)結線対応

- 外部機器との結線に新開発 CeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要になりました。
- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

安全上のご注意

使用上のご注意

⚠ 警告

走行中は運転者による操作をしない...

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



走行中はビラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない...

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。



本機を分解したり、改造しない...

事故や火災、感電の原因となります。



ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない...

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きたときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する...

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



■ ご使用の前に

⚠ 警告

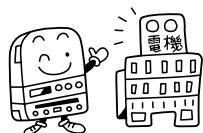
ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご依頼する…

専門技術と経験が必要です。



⚠ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる場合があります。



ディスク挿入口に手や指を入れない…

ケガの原因となることがあります。



スロープコンソールの開閉時に、機構部に手や指を近づけない…

ケガの原因となることがあります。



ディスク挿入口に異物を入れない…

火災や感電の原因となることがあります。



本機を車載用以外には使用しない…

感電やケガの原因となることがあります。



アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない…

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。



樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない…

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



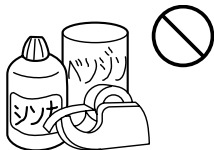
電源を切るときは、音量を最小にする…

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠ 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

自動車用クリーナーなどを使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(84ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

スロープコンソールについて

電源をOFFにするときは、安全のためスロープコンソールを閉じた状態にしてください。CDまたはMDをイジェクトしたときは、必ず取り出してからスロープコンソールを閉じてください。(CDまたはMDを取り出してから一定の時間が過ぎると、スロープコンソールは、ピープ音を鳴らしてから自動的に閉じるかまたは角度調整した状態になります。)

⚠ 注意

スロープコンソールの開閉時には、指などを挟まないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

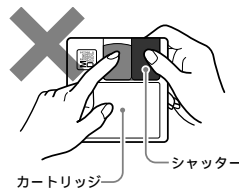
スロープコンソールの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。スロープコンソールをフルオープンした状態で一定の時間が過ぎると、自動的に閉じるか又は角度調整した状態に戻るよう設定されています。このとき、指や異物などを挟まないように注意してください。スロープコンソールが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいて、自動的に止まります。スロープコンソールを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、CD/MDイジェクトボタンを押してください。

MDについて

MDマークのついたMDをご使用ください。

取り扱い上のご注意

直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。MDのシャッターを手で開けないでください。



ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

お手入れ

カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

CDまたはMDの演奏について

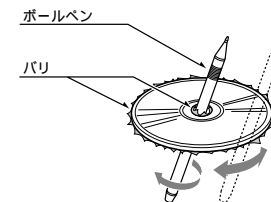
車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDまたはMDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。8cmシングルCDまたはMDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CDについて

COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークまたは COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT マークのついたCDをご使用ください。また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

取り扱い上のご注意

レーベル面(印刷面)に文字などを記入しないでください。セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。ディスク面に、傷や指紋をつけないように扱ってください。新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。
直射日光の当たる場所
湿気やホコリの多い場所
暖房の熱が直接当たる場所

お手入れ

汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部

SCN

スキャンボタン

- CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
- ラジオ/TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

RPT

リピートボタン

- CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時に繰り返し演奏します。

RDM

ランダムボタン

- CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時には、ランダム演奏をします。

TEL

電話ボタン

- 電話モードに切り換えます。

TTL
ADJ

タイトルボタン

- ラジオ/TV局の名称や、CDモードやCDチェンジャーモード時のディスクタイトルの入力/削除、MDモードやMDチェンジャーモード時のタイトルスクロールなどに使います。
- 押し続けて(約1秒間)、各種設定・調整項目の選択に使います。

DISP

ディスプレイボタン

- ラジオ/TVモード時は、周波数 タイトル スクリーンセーバーを切り換えます。
- CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時は、演奏時間 タイトル スクリーンセーバーを切り換えます。
- スクリーンセーバー表示中に押し続けると、スクリーンセーバー表示を切り換えます。
- メイン表示時、押し続ける(約3秒間)とアゼストデモ表示となり、スペアナパターン、スクリーンセーバーパターン等を表示をします。

S/A

スペアナボタン

- スペアナパターンが切り換わります。
- メイン表示あるいはタイトル表示中に押し続けると、マルチキャラクターが切り換わります。

↑

サーチボタン

- ラジオ/TVモード時は選局に使います。
- CD/MDモードやCD/MDチェンジャーモード時には、選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。

ENT

プレイ/ポーズボタン

- CD/MDモードやCD/MDチェンジャーモード時には、演奏/一時停止をします。
- アジャストモード時には、各種設定の決定に使います。

上部ディスプレイ

選局/演奏状態の各種情報を表示します。

下部ディスプレイ

スペアナパターン等を表示します。

リモコン受光部

リセット
ボタン

DSP

DSPボタン

- DSP(DSF,VSE)のON/OFFやDSPの各種設定に使います。

1 7

ダイレクトボタン(17~612)

- ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。
- CD/MDチェンジャーモード時にはディスクを選択します。

6 12

EQ

EQボタン

- イコライザーモードのON/OFFやイコライザーの各種設定に使います。

△CD/

CDイジェクトボタン

- CDをイジェクトします。(コンソールはフルオープン)
- 押し続けてスロープコンソールの角度を解除します。

△MD/

MDイジェクトボタン

- MDをイジェクトします。
- 押し続けてスロープコンソールの角度を調整します。

FUNC PWR

ファンクションボタン

- 押し続けて電源をON、押し続けて(約1秒間)OFFします。
- モードを切り換えます。
- 電話モード時には通話を開始します。

BND

バンドボタン

- ラジオ/TVモード時はバンド切換、押し続けて(約1秒間)、自動 手動選局を切り換えます。
- CD/MDモード時は最初の曲に戻ります。
- 電話モード時は、通話を終了し、電話モードを解除します。
- CD/MDチェンジャー時は次のディスクを選択します。

ISR

ISRボタン

- 現在のモードにかかわらずよくお聴きになるラジオ局をすぐに出呼します。(ISR機能)初期設定では交通情報1620kHzです。

+

ボリュームボタン

- +または-を押して、音量を調節します。
- アジャストモード時には、各種の設定に使います。

MUTE

ミュートボタン

- 消音します。

M

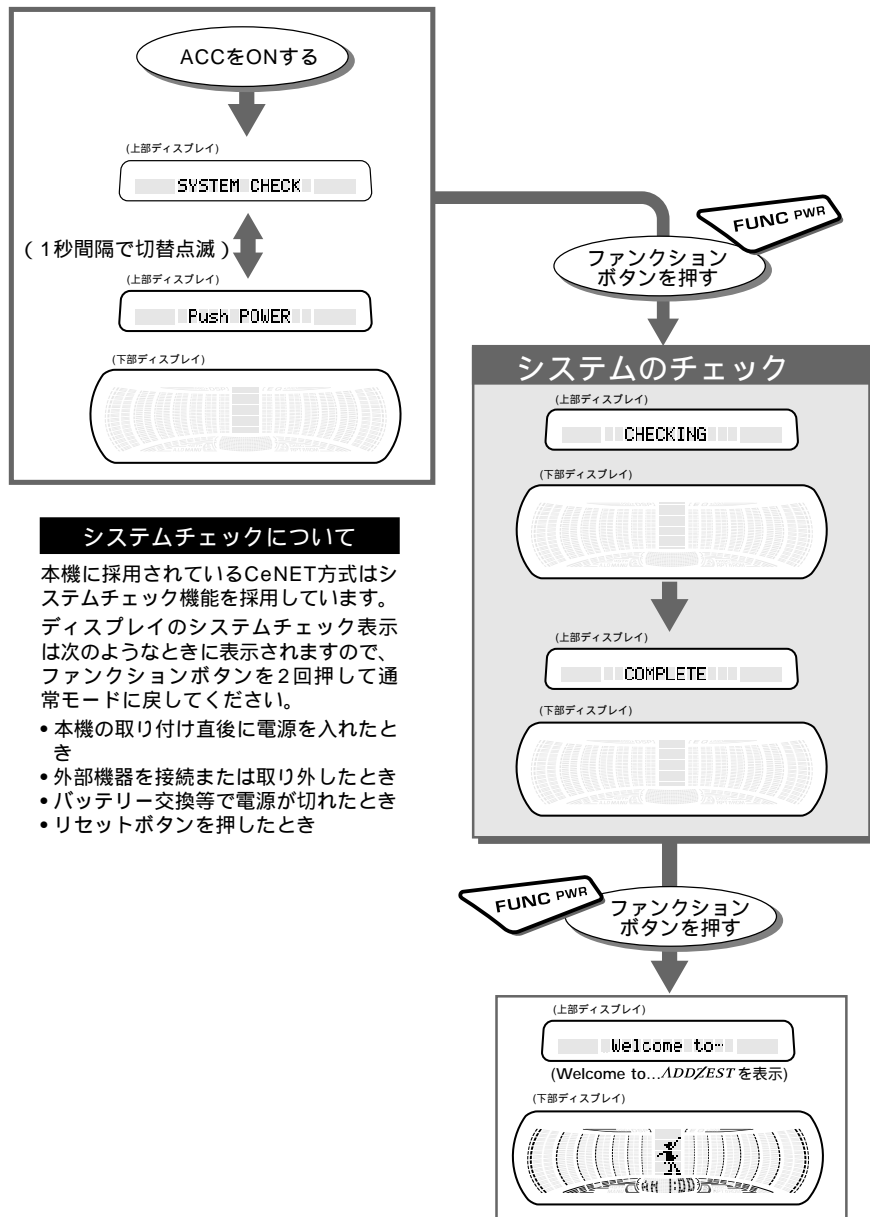
スロープコンソールオープン状態

CD挿入口
CDを挿入します。

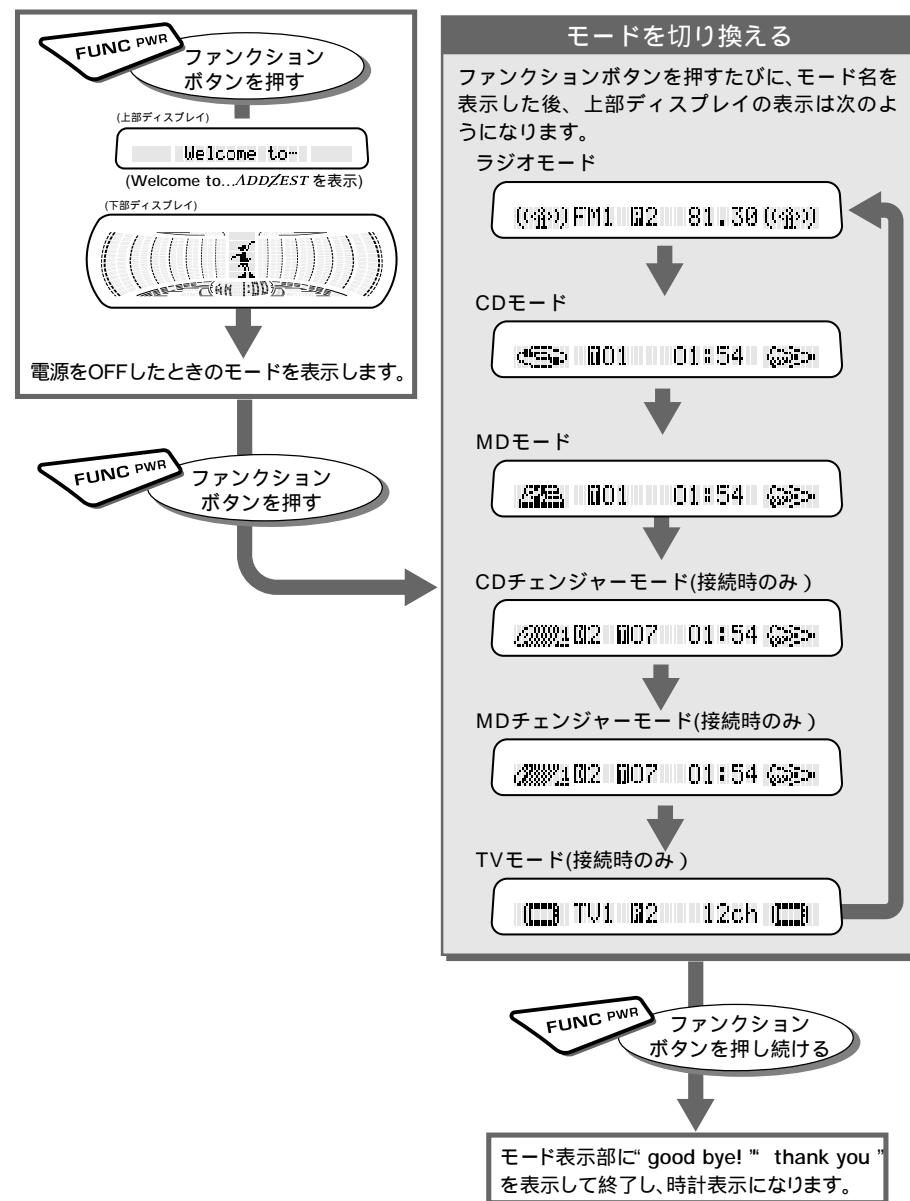
MD挿入口
MDを挿入します。

■ 各部の名称とはたらき

システムチェック時のディスプレイ表示



電源ON/OFF時のディスプレイ表示



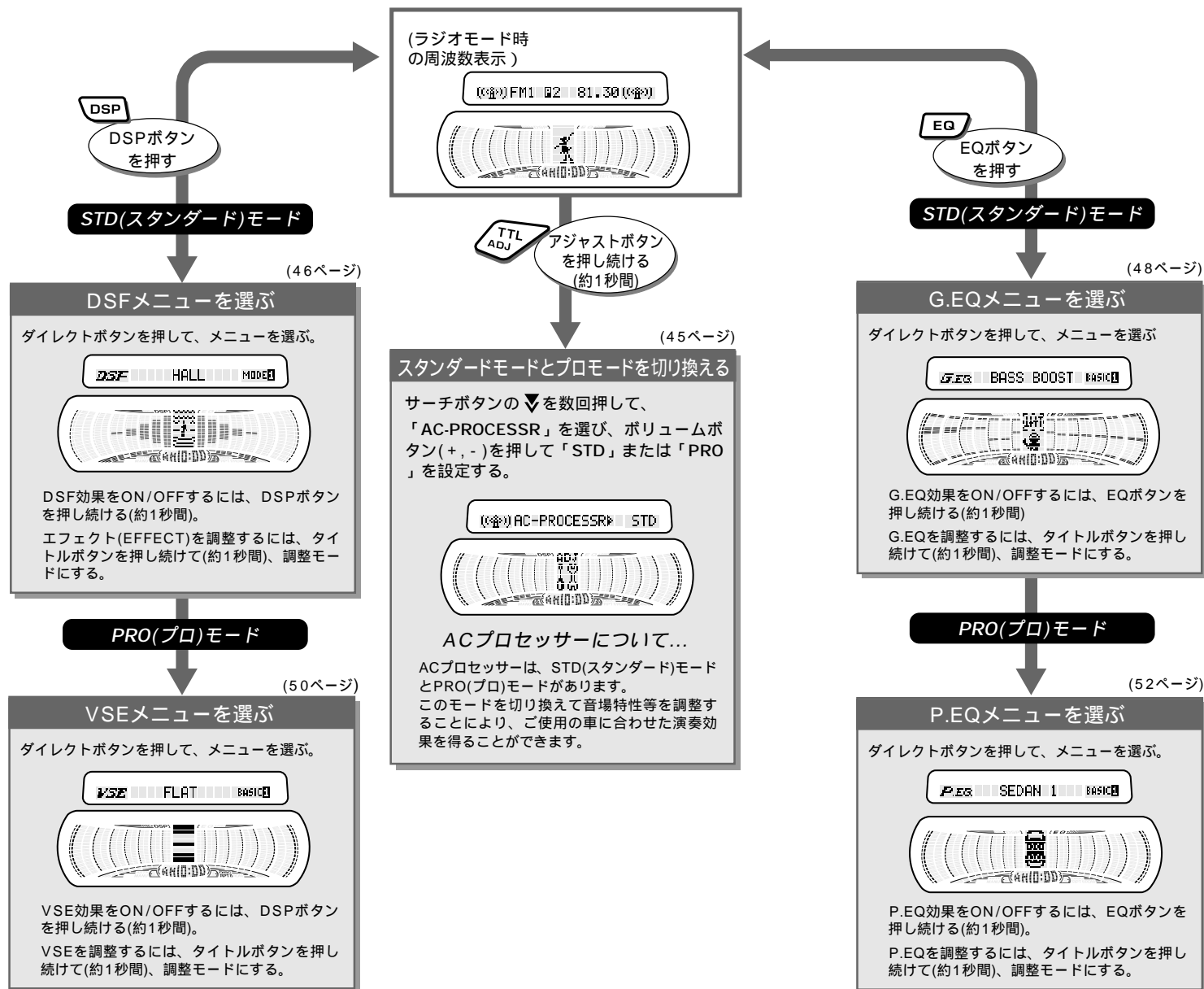
■ 各部の名称とはたらき

各種設定/調整時のディスプレイ表示



■ 各部の名称とはたらき

各種設定/調整時のディスプレイ表示

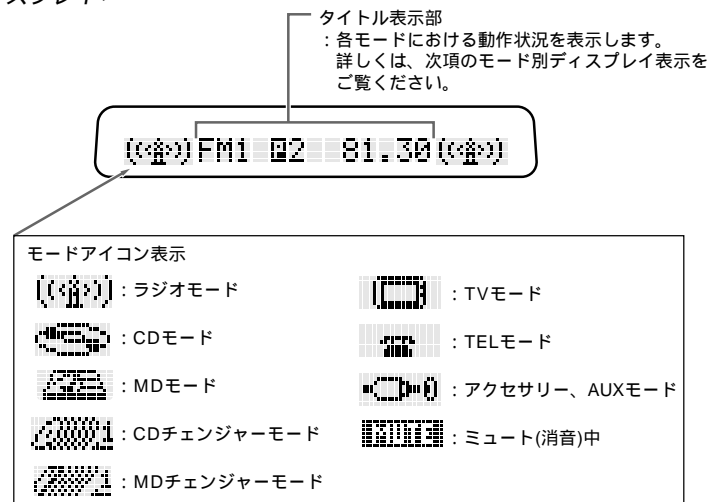


■ 各部の名称とはたらき

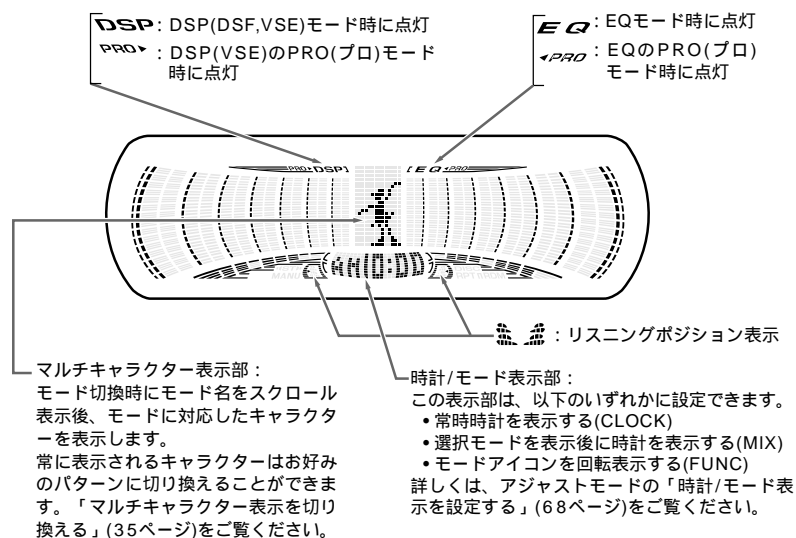
モード別ディスプレイ表示

各モード共通の表示

<上部ディスプレイ>

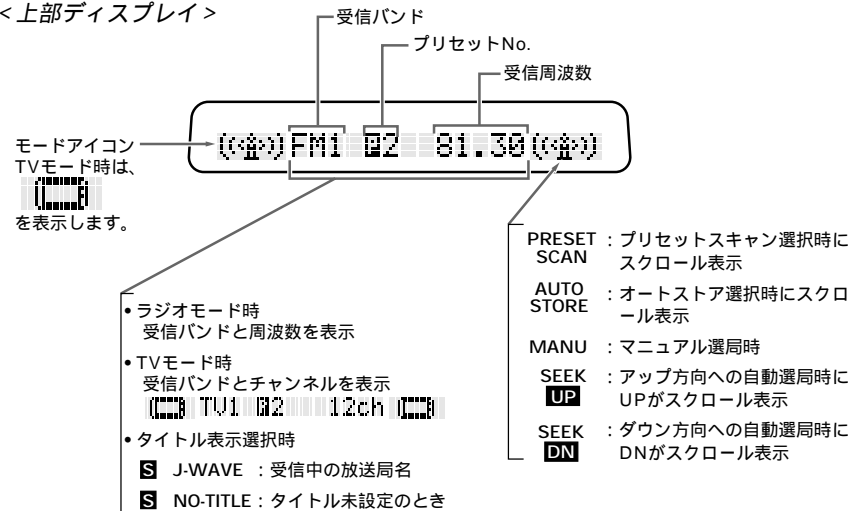


<下部ディスプレイ>

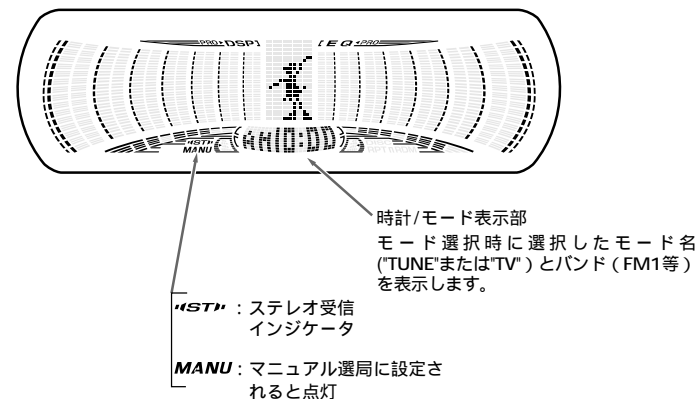


ラジオ /TV(接続時)モードの表示

<上部ディスプレイ>



<下部ディスプレイ>

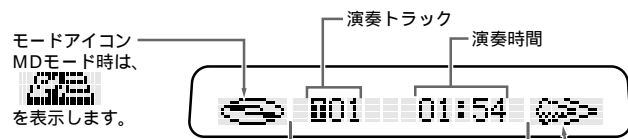


■ 各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

CD/MD モードの表示

<上部ディスプレイ>



• タイトル表示選択時

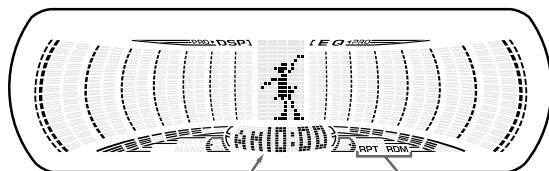
- ABCXXX : 登録されているタイトルを表示
- U** NO-TITLE : ユーザータイトル未設定のとき
- T** NO-TEXT : CDテキストにおいてトラックタイトル未設定のとき
- D** NO-TEXT : CDテキストにおいてディスクタイトル未設定のとき
- A** NO-TEXT : CDテキストにおいてアーティスト名未設定のとき
- T** NO-TITLE : MDにおいてトラックタイトル未設定のとき
- D** NO-TITLE : MDにおいてディスクタイトル未設定のとき

• その他の表示

- NO DISC : ディスクがないとき
- ERROR 2 : エラー発生時

- : スキャン演奏中
- : リピート演奏中
- : ランダム演奏中

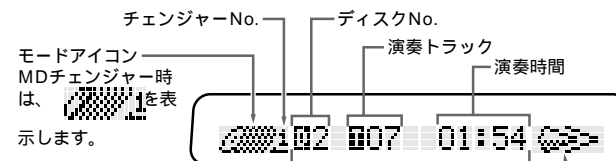
<下部ディスプレイ>



時計/モード表示部
モード選択時に、選択したモード名(「CD」または「MD」)を表示します。

CD/MD チェンジャーモード(接続時)の表示

<上部ディスプレイ>



• タイトル表示選択時

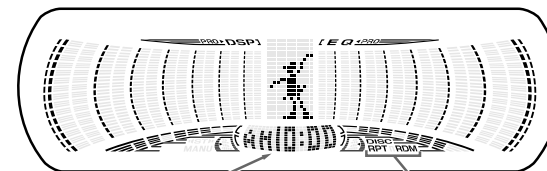
- ABCXXX : 登録されているタイトルを表示
- U** NO-TITLE : ユーザータイトル未設定のとき
- T** NO-TEXT : CDテキストにおいてトラックタイトル未設定のとき
- D** NO-TEXT : CDテキストにおいてディスクタイトル未設定のとき
- A** NO-TEXT : CDテキストにおいてアーティスト名未設定のとき
- T** NO-TITLE : MDにおいてトラックタイトル未設定のとき
- D** NO-TITLE : MDにおいてディスクタイトル未設定のとき

• その他の表示

- NO DISC : ディスクがないとき
- ERROR 2 : エラー発生時
- NO MAGAZINE : CDチェンジャーのマガジンがないとき

- : スキャン演奏中
- : ディスクスキャン演奏中
- : リピート演奏中
- : ディスクリピート演奏中
- : ランダム演奏中
- : ディスクランダム演奏中

<下部ディスプレイ>



時計/モード表示部
モード選択時に選択したモード名(「CD-1」または「MD-1」)とDISC番号「DISC-1」を表示します。

各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-130)の使いかた

モードを選ぶ ファンクションボタン

電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → MD → (CDチェンジャー)
↑
(ACCS) ← (TV) ← (MDチェンジャー)

押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する ▲▼(ボリューム)ボタン

音を消す ミュートボタン

ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す ISRボタン

ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオモードでISRボタンを押し続けます(約2秒間)。元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする スキャンボタン

スキャン演奏します。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。
(CD/MDチェンジャーモード時)
プリセットした放送局を確認られます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)
また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)
解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する リピートボタン

繰り返し演奏します。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(CD/MDチェンジャーモード時)
解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える ランダムボタン

ランダム演奏します。(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)
解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。
TVモード時にTVをVTRに切り換えます。

演奏する

▶/II(プレイ・ポーズ)ボタン

演奏と一時停止をします。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)

選曲する/選局する ◀▶サーチボタン

押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ/TVモード時)

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える バンドボタン

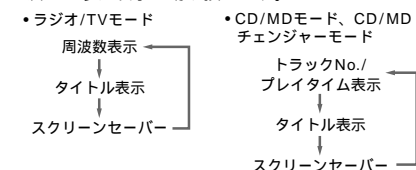
最初の曲から演奏します。(CD/MDモード時)
受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)

次のCD(またはMD)を演奏する ディスクアップボタン

次のCD(またはMD)を演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)

表示を切り換える ディスプレイボタン

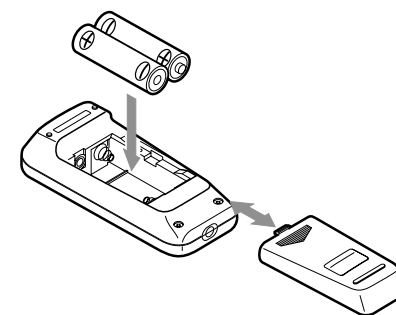
次のように表示を切り換えます。



タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。
スクリーンセーバー中に押し続けると(約1秒間)、スクリーンセーバーを切り換えます。
メイン表示中に押し続けると(約3秒間)と、アゼストデモ表示を切り換えます。

電池の入れかた

- ① リモコンを裏返して、矢印の方向に裏ぶたをスライドさせます。
- ② 付属の電池(1.5Vの単3形乾電池2個)を図のような向きに入れて、裏ぶたを閉めます。



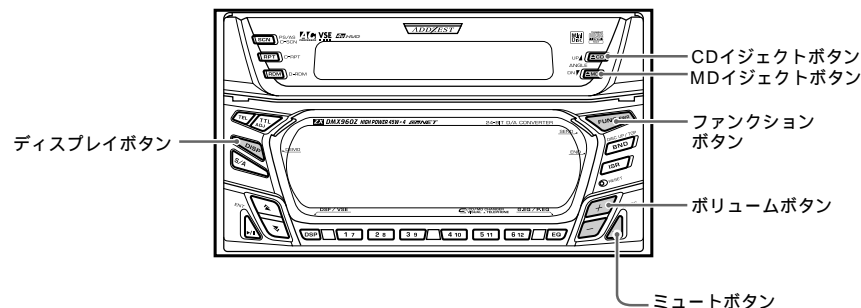
本機
の
操
作

⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- ・ 指定電池以外は使用しない。
- ・ 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・ 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- ・ 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

基本の操作



電源を入れる

ファンクションボタンを押す



前回の操作終了時のモードが表示されます。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

- 時刻の設定は、28ページをご覧ください。

電源を切るときは...

ファンクションボタンを押し続けてください。(約1秒間)

システムチェックについて...

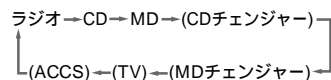
結線後、電源ボタンを押して、電源を入れると「SYSTEM CHCK」と「Push POWER」が交互に表示されますので、ファンクションボタンを押してください。「CHECKING」が表示され、接続した機器をチェックします。システム確認が終わると接続機能別に「COMPLETE」が表示されますので再度ファンクションボタンを押してください。通常の動作をはじめます。詳しくは「システムチェック時のディスプレイ表示」(14ページ)をご覧ください。

モードを選ぶ

ファンクションボタンを押す



押すたびに、次のように切り換わります。



- 接続していない機器のモードは表示されません。
- CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時に、CDまたはMDが入っていないときには「NO DISC」、CDチェンジャーモード時にチェンジャーにマガジンが入っていないときには「NO MAGAZINE」を表示します。

スロープコンソールの角度を調整する

スロープ角度調整について...

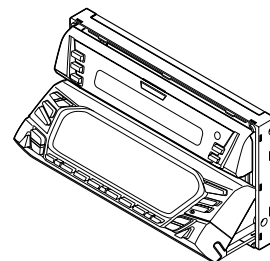
- ディスプレイの表示が見にくいときに、スロープコンソールの角度を変えて見やすくなります。
- 角度を調整できる範囲は、0～約40度までの間です。
- 調整した角度は、メモリーされます。

MDイジェクトボタンを押し続ける



指を離れたところで止まります。

- CDイジェクトボタンを押すと、フルオープン(CDを取り出せる状態)となります。



ご注意

本機を使用しないときは、安全のためスロープコンソールを閉じてください。

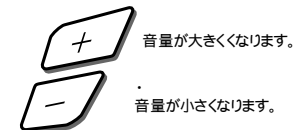
スロープコンソールのメモリー角度を解除するには...

CDイジェクトボタンを押し続けてください。



音量を調節する

ボリュームボタンの+または-を押す



運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

音量を消す(ミュート)

ミュートボタンを押す

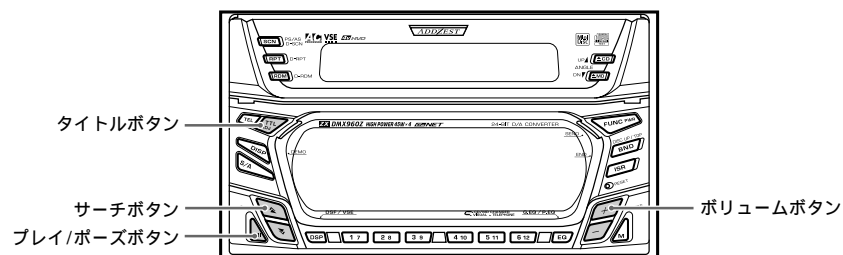


モードアイコン表示部に「MUTE」と表示します。

元の音量に戻すには...

もう1度ミュートボタンを押すか、ボリュームボタンの+または-を押してください。

■ 基本の操作



時刻を合わせる

時計表示について...

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。時計は12時間表示です。ナビゲーション接続時はナビゲーションシステムから時刻データが供給されるため、本機にて設定する必要がありません。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



「EXTRA OUT ▶ OFF」が表示されます。

- 2 サーチボタンの▲または▼を押して、「CLOCK ADJ PUSH ENT」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズを押して、時計を表示させる



「ADJ AM 1:00」を表示して、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

- 4 サーチボタンの▲または▼を押して、時または分を選ぶ



- 点滅している項目を調整できます。

- 5 ボリュームボタンの+または-を押して、数字を合わせる



- 6 手順4～5を繰り返して、時刻を設定する

- 7 プレイ/ポーズボタンを押す



ピープ音となり、時刻が設定されます。

ご注意

- 点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう1度時刻合わせをしてください。

- 8 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

バランス/フェダーを調整する

バランス、フェダー調整について...
選択したリスニングポジションに、さらにバランス、フェダーを調整することにより、自然な音像定位をきめ細かく調整できます。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの▲または▼を押して、「POSITION PUSH ENT」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押して、調整モードにする。



調整項目が点滅します。

(BAL) BAL (FAD) FAD

- 4 サーチボタンの▲または▼を押して、バランス(BAL)またはフェダー(FAD)を選ぶ



- 5 ボリュームボタンの+または-を押して、調整量を増減させる

左右のスピーカー(バランス)の調整

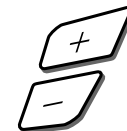


右のスピーカーの音が強調される

左のスピーカーの音が強調される

- 調整範囲は、Left9～Right9です。リスニングポジションを「設定なし」にしているときには、Left13～Right13です。

前後のスピーカー(フェダー)の調整



前方スピーカーの音が強調される

後方スピーカーの音が強調される

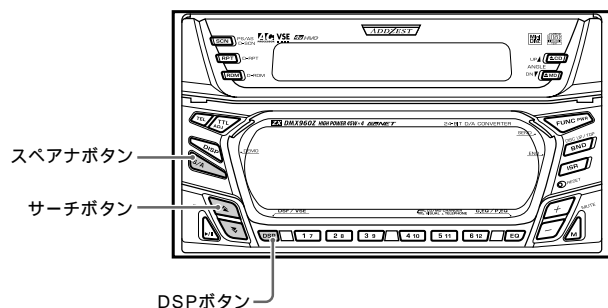
- 調整範囲は、Front9～Rear9です。リスニングポジションを「設定なし」にしているときには、Front12～Rear12です。

- 6 タイトルボタンを押して元のモードに戻る



次ページに続く

■ 基本の操作



リスニングポジションを設定する

リスニングポジションについて...
スピーカーからの音の到着時間を座席位置に合わせて5タイプから選ぶことができます。

- 初期設定は「前部座席」です。
- この機能はACプロセッサーがスタンダードモードのときに設定できます。設定のしかたは「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(45ページ)をご覧ください。

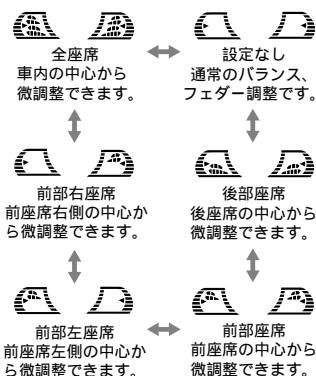
1 DSPボタンを押す



2 サーチボタンの▲または▼を押す



押すたびに、リスニングポジションが切り換わります。リスニングポジションインジケータは、右上図のように点灯表示します。



3 DSPボタンを押して、元のモードに戻る



スペアナパターンを切り換える

スペクトラムアナライザー (スペアナ) とは...

周波数分析のことで、いくつかの周波数のサウンドレベルをディスプレイに表示します。本機は、8種類のパターンから、お好みにより選ぶことができます。

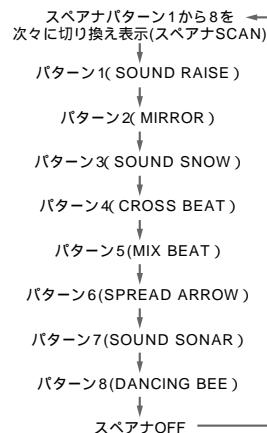
スペアナボタンを押して、スペアナ表示を切り換える



スペアナボタンを押すたびに、次のように切り換わります。スペアナパターンについては次ページをご覧ください。

* スペクトラムアナライザーのサウンドレベル表示は、次のようなときには表示しません。

- ラジオモード時のシーク選局中、プリセットスキャン中、オートストア中。
- MDモード、CDモード時、CD/MDチェンジャーモード時のディスク/トラックサーチ中、「NO DISC」「NO MAGAZINE」表示中。
- エラー表示中。
- 一時停止中。
- ミュート(「MUTEを表示」)中、音量が0のとき(「VOL 0」を表示)

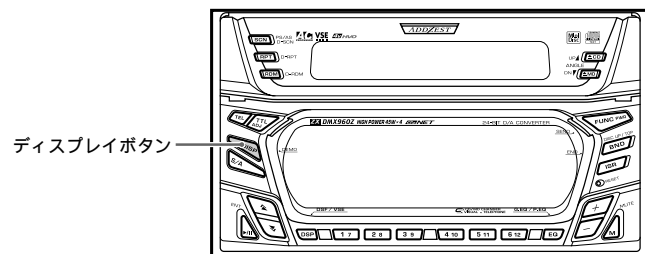


スペクトラムアナライザーの感度/表示の速さについて...

スペクトラムアナライザーの感度 (SENSITIVITY) は、パターン表示の感度です。感度を切り換えることで音量が変わることはありません。

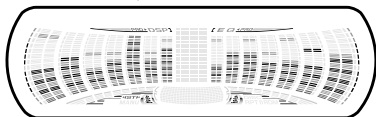
スペアナ感度について
初期設定は「MID」です。
設定のしかたは、「スペクトラムアナライザーの感度を設定する (ANA SENS)」(62ページ) をご覧ください。
スペアナ表示の速さについて
初期設定は「HIGH」です。
設定のしかたは、「スペアナ表示の速さを設定する (ANA SPEED)」(62ページ) をご覧ください。

■ 基本の操作

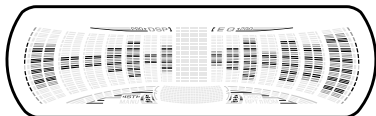


スペアナパターンについて

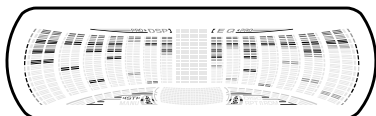
1. SOUND RAISE(サウンドライズ)



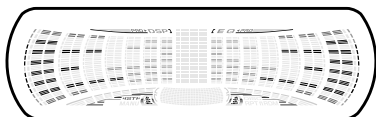
2. MIRROR(ミラー)



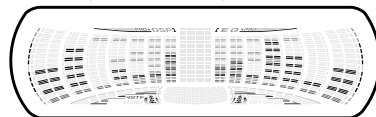
3. SOUND SNOW(サウンドスノー)



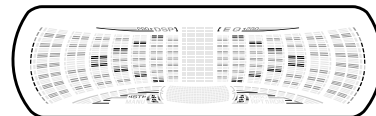
4. CROSS BEAT(クロスビート)



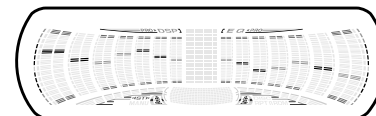
5. MIX BEAT(ミックスビート)



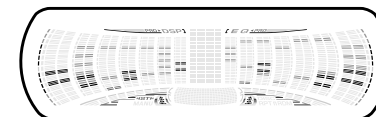
6. SPREAD ARROW(スプレッドアロー)



7. SOUND SONAR(サウンドソナー)



8. DANCING BEE(ダンシングビー)



上部ディスプレイ表示を切り換える

ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ

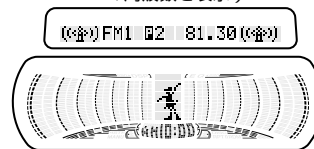


押すたびに、次のように切り換わります。

- 設定した表示は、電源のOFF/ON後も継続します。

ラジオモードの場合

- メイン表示 (受信バンド/プリセツNo. /周波数を表示)



- タイトル表示



- スクリーンセーバ



タイトル表示を切り換える

タイトル表示について...

CDモードまたはCDチェンジャーモードにおける通常のCDまたはCDテキスト再生時、MDモード/MDチェンジャーモードにおけるMD再生時に、ディスクにあらかじめ登録されているディスクタイトルまたは曲(トラック)タイトル等を、本機のディスプレイに表示します。

タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。

ユーザータイトル(通常のCD時)

↓

ディスクタイトル(CDテキスト/MD時)

↓

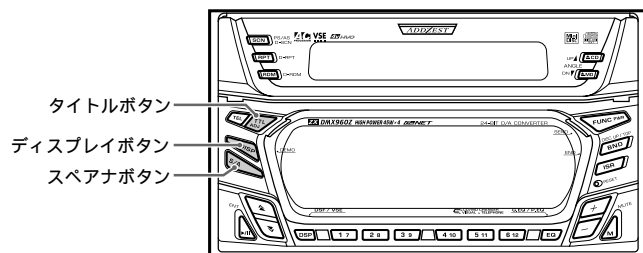
アーティスト名(CDテキスト時)

↓

トラックタイトル(CDテキスト/MD時)

タイトルが設定されていないときの表示は、モード別ディスプレイ表示(22~23ページ)をご覧ください。

■ 基本の操作



タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて...

タイトルスクロールは、「タイトルスクロール方法を設定する」(64ページ)で選択したスクロール方法に従って表示します。

- 「ON」: 自動でスクロールを開始し、スクロールし続けます。
- 「OFF」: タイトルボタンを押すとスクロールします。

以下の記載は、「OFF」に設定されているときの操作手順です。

タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押す



タイトルが左にスクロールします。

- タイトルの末尾まで表示すると、最初のタイトル表示に戻ります。

ご注意

以下の設定状況にあるときは、タイトルボタンを押してもタイトルスクロールはしません。

- ラジオモードの「チューナーエリアを設定する」で「USER TITLE」を選択しているとき。
- TVモードの「TVエリアを設定する」で「USER TITLE」を選択しているとき。

- CDモード/CDチェンジャーモードで「USER TITLE」を選択しているとき。

この設定のときに、タイトルボタンを押すと、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

スクリーンセーバーを切り換える

スクリーンセーバーについて...

5種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。

1 ディスプレイボタンを押して、スクリーンセーバーに切り換える



ディスプレイボタンを押すたびに、メイン表示 タイトル表示 スクリーンセーバーと切り換わります。

2 ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のように切り換わります。

1.CLUB SCENE(クラブシーン) (上部ディスプレイ)



(マルチキャラクター表示部)

2.MARINE SCENE(マリンシーン)



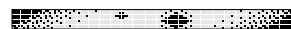
3.SPACE SCENE(スペースシーン)



4.LAND SCAPE(ランドスケープ)



5.BGV



マルチキャラクター表示を切り換える

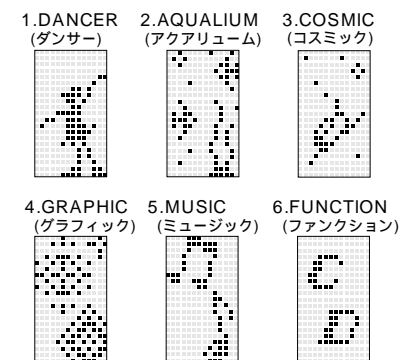
マルチキャラクターについて...

下部ディスプレイ中央のマルチキャラクター表示部に、6種類のパターンからお好みのキャラクターを選んで表示することができます。

メイン表示のときまたは、タイトル表示のときに、スペアナボタンを押し続ける(約1秒間)



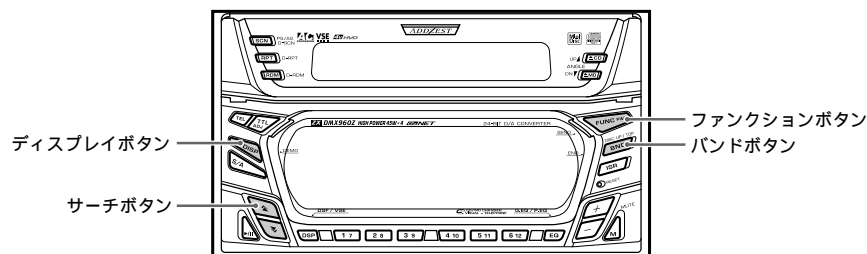
押すたびに、以下のパターンに切り換わります。



*6項のファンクション(FUNCTION)キャラクターは、選択している以下のモード名を表示します。

- ラジオモード :TUNE
- CDモード :CD
- MDモード :MD
- CDチェンジャーモード :CD A/C
- MDチェンジャーモード :MD A/C
- TVモード :TV
- アクセサリーモード :ACCS

■ 基本の操作



アゼストデモを表示する

アゼストデモについて...

ディスプレイにスペアナパターン、スクリーンセーバーパターン等をデモ表示します。

メイン表示のときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約3秒間)



アゼストデモ表示になると、「ピー」と音が鳴ります。

- 上部ディスプレイがメイン表示になっていないときは、ディスプレイボタンを押して、切り換えてください。ディスプレイボタンを押すたびに、メイン表示 タイトル表示 スクリーンセーバーと切り換わります。(詳しくは、「上部ディスプレイ表示を切り換える」(33ページ)をご覧ください。)

アゼストデモ表示中のボタン操作について...

アゼストデモ表示中に、CD/MDイジェクトボタン以外のボタンを押すと、一時的にアゼストデモを解除します。(このとき、電源をONしたときの表示から始まります。)その後、キー操作がない場合は、約1分後にアゼストデモ表示に戻ります。(デモ表示に戻ったときに「ピー」と鳴ります。)

アゼストデモを解除するには...

- デモ表示中に、CD/MDイジェクトボタン以外のボタンを押して、一時的にデモ表示を解除します。
- ディスプレイボタンを押して、メイン表示にします。
- ディスプレイボタンを押し続けてください。(約3秒間)

デモが解除されると、「ピー」と音が鳴ります。

- アゼストデモは、ACCスイッチのOFF/ON、電源のOFF/ONでは解除されません。
- リセットボタンを押すと、アゼストデモが解除されます。(リセットボタンを押すと、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。)

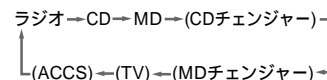
■ ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ

- ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

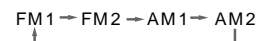
- FMダイバーシティアンテナを使用しないときは、「FMダイバーシティを設定する(FM DIVER)」(64ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局名を表示させたいときは、「チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)」(65ページ)で、受信エリアを設定してください。

受信バンドを切り換える

バンドボタンを押す



バンドボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



自動選局する(シーク選局)

- 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- サーチボタンの▲または▼を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

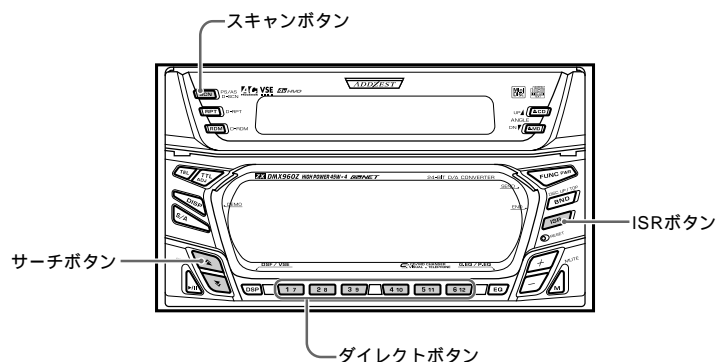
- サーチボタンの▲または▼を押して、放送のあるところに合わせる



*手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

- ステップ選局のときは、サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、好みの周波数に合わせることができます。

ラジオ放送を聴く



プリセット選局する

プリセット選局について...

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

ダイレクトボタン(1-7 ~ 6-12)を押して、聴きたい放送局を選ぶ

1 7 2 8 3 9 4 10 5 11 6 12

ディスプレイにプリセットNo.を表示します。

- メモリーするときは、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

ご注意

選局時にダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 サーチボタンの ▲ または ▼ を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



2 メモリーさせたいダイレクトボタン(1-7 ~ 6-12)を押し続ける(約2秒間)

1 7 2 8 3 9 4 10 5 11 6 12

メモリーされると、ディスプレイにプリセットNo.を表示し、「ピー」と鳴ります。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について...

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



上部ディスプレイ部に「AUTO」と「STORE」をスクロール表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)にメモリーされていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。
- メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンにはそれまでのメモリー内容が残っています。
- すでにメモリーされている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

スキャンボタンを押す



上部ディスプレイ部に「PREST」と「SCAN」をスクロール表示します。

- プリセットスキャンはメモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

プリセットスキャンを解除するには...

もう1度、スキャンボタンを押してください。

ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について...

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。(初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています)

ISRボタンを押す



初期設定時は、上部ディスプレイに受信周波数(「AM 1620」)を、下部ディスプレイに「ISR」を表示し、ISRにメモリーされている放送局を選局します。

元のモードに戻すには...

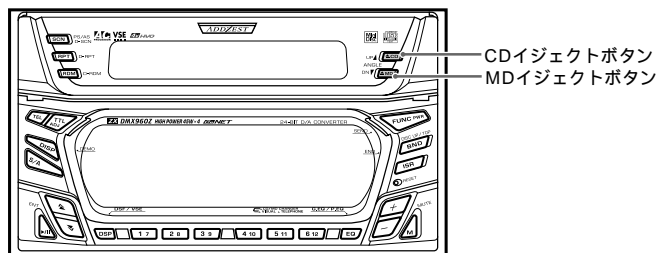
もう1度ISRボタンを押してください。

ISRにメモリーするには...

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、ISRボタンを押し続け(約2秒間)てください。

ISRにメモリーされます。

CD/MDを聴く



CD(またはMD)を入れる

ディスク・イン・プレイ機能について...
本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCがONであればイジェクトボタンを押すと、スロープコンソールが開きます。さらにCD(またはMD)を入れると自動的に電源が入り、演奏をはじめます。



注意

- スロープコンソール開閉時に、手や指などを挟まないようご注意ください。
- CDまたはMD挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

CDの場合

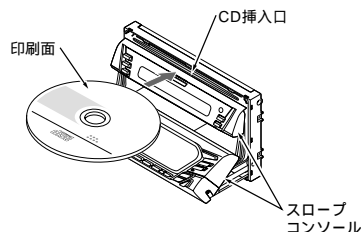
1 CDイジェクトボタンを押す



スロープコンソールが開きます。

- CDを挿入しないと、約30秒後にピープ音が鳴り、スロープコンソールが自動的に閉まります。
- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。

2 CD挿入口にCDを入れる



CDを入れると、スロープコンソールが自動的に閉まり、演奏が始まります。

- CDは、タイトル等が印刷されている面を上側に入れてください。裏返しに挿入した場合、スロープコンソールが一旦閉じて、「ERROR6」を表示し、再度スロープコンソールが開きCDをイジェクトします。
- 未録音のCD(ブランクCD-R)を入れると、直ちに「ERROR6」を表示し、イジェクトされます。
- 本機は、表示のあるコンパクトディスク以外は使用できません。また、ハート形や八角形などの特殊形状のCDは、使用できません。
- CD-ROMは、使用しないでください。
- CD-Rで記録されたCDは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDは使用できません。

次ページに続く>>

シングルCD(8cmCD)について...

- シングルCDはアダプターなしで演奏していただきます。

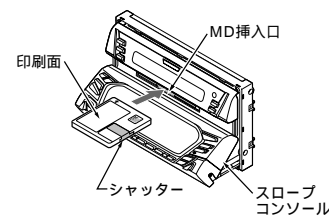
MDの場合

1 MDイジェクトボタンを押す



スロープコンソールが開きます。

2 MD挿入口にMDを入れる



MDを入れると、スロープコンソールが自動的に閉まり、演奏をはじめます。

- MDは、印刷面を上、シャッター板を右側にして入れてください。
- 未録音のMDを挿入した場合、スロープコンソールが一旦閉じて、「ERROR6」を表示し、再度スロープコンソールが開きMDをイジェクトします。



- 本機は、マーク表示の無いMDは使用できません。
- タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える」(33ページ)をご覧ください。
- モノラルモードで録音されたMDは使用できません。

CD(またはMD)を取り出す

バックアップイジェクト機能について...

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、CD(またはMD)を取り出すことができます。

CDのときは CDイジェクトボタンを押す



- CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。(オートリロード)
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出してください。

ご注意

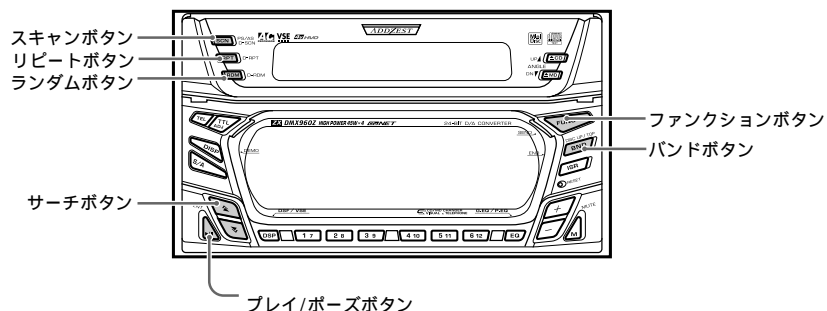
- オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。
- CDを取り出した後、必ずスロープコンソールを閉めてください。また、スロープコンソールを開いたままにしておくと、約30秒後にピープ音が鳴り、自動的に閉まりますのでご注意ください。

MDのときは MDイジェクトボタンを押す



- イジェクトされたMDは、必ず取り出してください。
- MDを取り出した後、必ずスロープコンソールを開けてください。また、スロープコンソールを開いた状態にしておくと、約30秒後にピープ音が鳴り、自動的に閉まりますのでご注意ください。

CD/MDを聴く



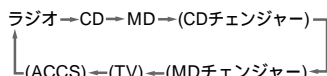
すでに入っているCD(またはMD)を聴く

ファンクションボタンを押して、モードを選ぶ



CD(またはMD)モードになると、自動的に演奏が始まります。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



演奏を止める(一時停止)

プレイ/ポーズボタンを押す



上部ディスプレイに「PAUSE」を点滅表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう1度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチボタンの▲を押す

前の曲を聴くときは、サーチボタンの▼を2回押す



▲を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

▼を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの▼を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

早送りするときは、サーチボタンの▲を押し続ける

早戻しするときは、サーチボタンの▼を押し続ける



最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について
演奏しているCD(またはMD)の最初の曲から演奏をはじめます。

バンドボタンを押す



最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...
CD(またはMD)に収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す



上部ディスプレイに「SCN」を表示して、スキャン演奏をします。

スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

いま演奏している曲が演奏されます。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す



上部ディスプレイに「RPT」を表示し、下部ディスプレイに「RPT」を点灯して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

下部ディスプレイの「RPT」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...
CD(またはMD)に収録されている曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す



上部ディスプレイに「RDM」を表示し、下部ディスプレイに「RDM」を点灯して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

下部ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

ACプロセッサーにできること

手軽に音を楽しみたい方へ

スタンダードモード(STD)の特長

- DSFによる音場シミュレーションでホールやライブハウスなど、その場所にいるような臨場感が手軽に得られます。
- G.EQによる7バンドのイコライザーで周波数レベルの補正が行えます。

スタンダードモード(STD)で調整できる項目

デジタル・サウンド・フィールド(DSF)

- リスニングポジションの調整
- DSFメニューの選択
- DSF効果のON/OFFの切り換え
- DSFの音場調整

グラフィックイコライザー(G.EQ)

- G.EQメニューの選択
- G.EQ効果のON/OFFの切り換え
- G.EQの周波数調整およびメモリー

車種に合わせたハイレベルの補正を行う方へ

プロモード(PRO)の特長

- VSEによる車室シミュレーションで、どの座席に座っていても同じ音響効果が得られるように、車室内の音圧分布の補正が行えます。
- P.EQによる車種に合わせた周波数補正により、周波数レベル全域をなめらかなカーブできめ細かく補正することができます。

プロモード(PRO)で調整できる項目

バーチャルスペースエンハンサー(VSE)

- VSEメニューの選択
- VSE効果のON/OFFの切り換え
- VSEの車室音場調整およびメモリー

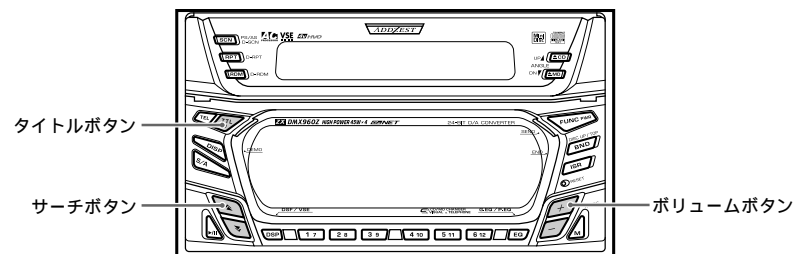
パラメトリックイコライザー(P.EQ)

- P.EQメニューの選択
- P.EQ効果のON/OFFの切り換え
- P.EQの周波数調整およびメモリー

どちらのモードでも調整できる項目

- G.EQ、VSE、P.EQのユーザーメモリーへのタイトル入力

スタンダードモードとプロモードを切り換える



モード選択について...

スタンダードモード(STD)またはプロモード(PRO)を選択してユーザーのお好みに合わせた音の調整、補正を行うことができます。

スタンダードモード(STD)

DSFおよびG.EQによって音場、音質が調整できます。

プロモード(PRO)

VSEおよびP.EQによって音場、音質が調整できます。

- 初期設定は「STD」です。

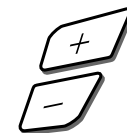
1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



2 サーチボタンの ▲ または ▼ を押して、「AC PROCSSR」を選ぶ



3 ボリュームボタンの + または - を押して、「STD」または「PRO」に設定する



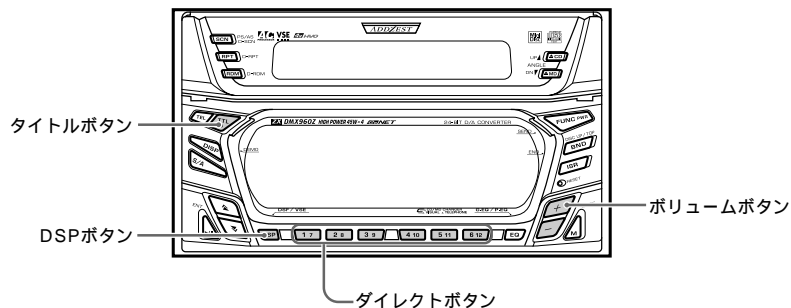
4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



ご注意

スタンダードモード(STD)で行った調整は、プロモード(PRO)時には反映されません。また、プロモード(PRO)で行った調整は、スタンダードモード(STD)時には、反映されません。

DSFの操作(スタンダードモード)



DSFメニューを選ぶ

DSF(デジタル・サウンド・フィールド)について...

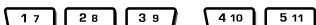
音場シミュレーションでホールやライブハウスなど、その場所にいるような臨場感が手軽に得られます。

「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(45ページ)の手順でスタンダードモード(STD)にしてください。

1 DSPボタンを押す



2 ダイレクトボタンを押して、DSFメニューを選ぶ



DSFメニュー

ボタン	機能名	内容
1 7	HALL(ホール)	小規模なホールのような音場
2 8	LIVE HOUSE(ライブハウス)	ジャズクラブより大きめのライブハウス
3 9	CLUB(クラブ)	低音が強調されたクラブのような音場
4 10	JAZZ CLUB(ジャズクラブ)	天井が低いジャズクラブのような音場
5 11	STUDIO(スタジオ)	リスニングルームのような音場

3 DSPボタンを押して、元のモードに戻る



DSF効果をON/OFFする

下部ディスプレイに「DSP」が表示されているときは、DSF効果が「ON」に設定されています。

・初期設定は「ON」です。

DSF効果を「OFF」に設定していると、「DSFの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

DSPボタンを押し続ける(約1秒間)



DSPボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

エフェクト(EFFECT)を調整する

エフェクトについて...

エフェクトとは、音が壁などにぶつかりはね返ってくる反射音のことです。本機はこの反射音の効果量を変えられます。

1 DSFメニューを選ぶ手順(1～2)で、調整のベースにするDSFメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



EFFECT(エフェクト:反射音の割合)調整モードになります。



・DSFメニューで「STUDIO」を選択したときは、「EFFECT 50%」と表示し、それ以外では、「EFFECT 100%」と表示します。

3 ボリュームボタンの+または-を押して、エフェクトを調整する



・調整範囲は0～100です。

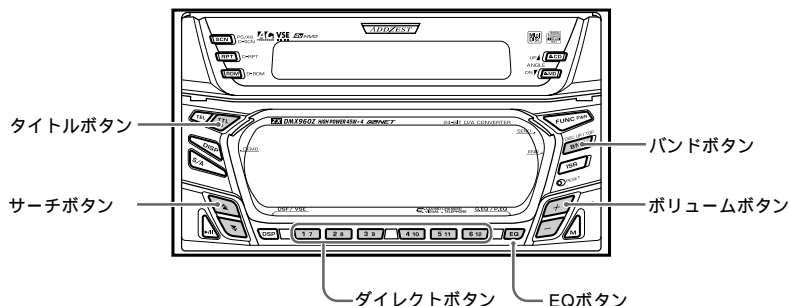
4 タイトルボタンを押して、DSFメニューに戻る



元のモードに戻るには...

DSPボタンを押してください。

G.EQの操作(スタンダードモード)



G.EQメニューを選ぶ

G.EQ (Graphic Equalizer) について...

7バンドのイコライザーで周波数レベルの補正が簡単に行えます。
「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(45ページ)の手順でスタンダードモード(STD)にしてください。

1 EQボタンを押す

EQ

2 バンドボタンを押して、「BASIC」を選ぶ

BND

ディスプレイに、「BASIC」が表示されます。

ユーザーメモリーを呼び出すには...

バンドボタンを押して、「USER」を選んでください。

- バンドボタンを押すたびに、「BASIC」と「USER」が切り換わります。
- 「USER」に切り換えた後、ダイレクトボタンを押して、ユーザーメモリーを選んでください。

3 ダイレクトボタンを押して、G.EQメニューを選ぶ

1 7 2 8 3 9 4 10 5 11 6 12

G.EQベーシックメニュー

ボタン	機能名	内容
1 7	BASS BOOST (バス ブースト)	重低音増強
2 8	HIGH BOOST (ハイ ブースト)	中高音域増強
3 9	ACOUSTICAL (アコースティカル)	中音域(人の声)増強
4 10	IMPACT (インパクト)	低音域と高音域を増強
5 11	SMOOTH (スムーズ)	しっとりとした感じ
6 12	FLAT(フラット)	原音、フラットイコライジング

ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

4 EQボタンを押して、元のモードに戻る

EQ

G.EQ効果をON/OFFする

下部ディスプレイに「EQ」が表示されているときは、G.EQ効果が「ON」に設定されています。

- 初期設定は「ON」です。

G.EQ効果を「OFF」に設定していると、「G.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

EQボタンを押し続ける(約1秒間)

EQ

EQボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

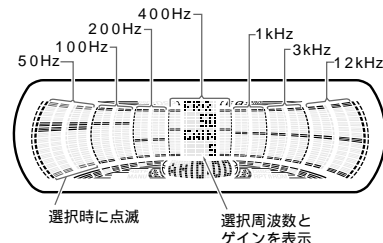
G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

1 G.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースとなるG.EQメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

TTL ADJ

3 サーチボタンの▲または▼を押して、調整する周波数を選ぶ



4 ボリュームボタンの+または-を押して、ゲインを調整する



- 調整範囲は、-12dB ~ +12dBです。
- レベルを上げすぎると、音がひずむ場合があります。

5 手順3~4を繰り返して、各周波数を調整する

6 調整を終えたら、タイトルボタンを押す

TTL ADJ

7 メモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)

1 7 2 8 3 9 4 10 5 11 6 12

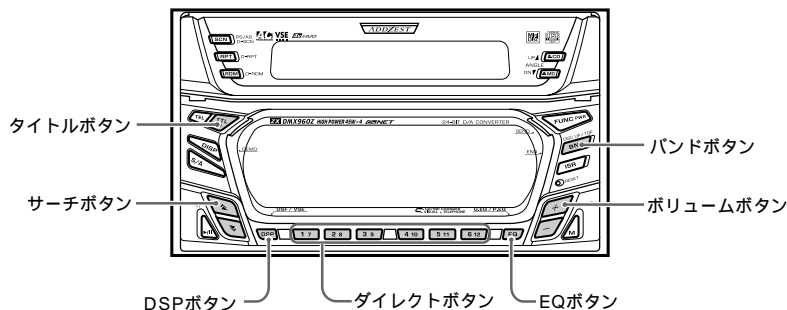
ユーザーメモリーにメモリーされます。

- ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「VSE/EQメニューにタイトルをつける」(56ページ)をご覧ください。

8 EQボタンを押して、元のモードに戻る

EQ

VSEの操作(プロモード)



VSEメニューを選ぶ

VSE(バーチャル・スペース・エンハンサー)について...

車室シミュレーションで、どの座席に座っていても同じ音響効果が得られるように、車室内の音圧分布の補正が行えます。「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(45ページ)の手順でプロモード(PRO)にしてください。

1 DSPボタンを押す



2 バンドボタンを押して、「BASIC」を選ぶ



ディスプレイに「BASIC」が表示されます。

ユーザーメモリーを呼び出すには...

バンドボタンを押して、「USER」を選んでください。

- バンドボタンを押すたびに、「BASIC」と「USER」が切り換わります。
- 「USER」に切り換えた後、ダイレクトボタンを押して、ユーザーメモリーを選んでください。

3 ダイレクトボタンを押して、VSEメニューを選ぶ



VSEベーシックメニュー

ボタン	S.EQ名	周波数特性
1 7	FLAT	フラットな特性
2 8	BASS BOOST	低音域を強調
3 9	HIGH BOOST	高音域を強調
4 10	IMPACT	低音域と高音域を強調
5 11	ACOUSTICAL	中音域を強調
6 12	SMOOTH	低音域から高音域にかけて段階的に減少

4 DSPボタンを押して、元のモードに戻る



ご注意

プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

VSE効果をON/OFFする

下部ディスプレイに「PRO DSP」が表示されているときは、VSE効果が「ON」に設定されています。

- 初期設定は「ON」です。

VSE効果を「OFF」に設定していると、「VSEの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

DSPボタンを押し続ける(約1秒間)



DSPボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

1 VSEメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするVSEメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



3 サーチボタンの▲または▼を押して、調整項目を選ぶ



- 調整範囲は、1~10です。
DIFFUZE...
広がり感の補正ズレを調整します。
CAR WIDTH...
車内の幅(横方向)に対する補正ズレを調整

します。
CAR LENGTH...
車内の長さ(縦方向)に対する補正ズレを調整します。

4 ボリュームボタンの+または-を押して、調整する



5 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す



6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



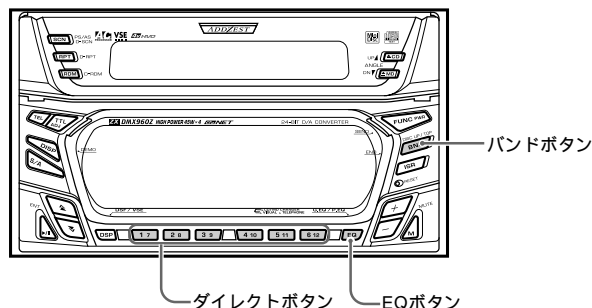
ユーザーメニューにメモリーされます。

- ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「VSE/EQメニューにタイトルをつける」(56ページ)をご覧ください。

7 DSPボタンを押して、元のモードに戻る



P.EQの操作(プロモード)



P.EQメニューを選ぶ

P.EQ(Parametric Equalizer)について...

車種に合わせた周波数補正により、周波数レベル全域をなめらかなカーブできめ細かく補正することができます。
「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(45ページ)の手順でプロモード(PRO)にしてください。

1 EQボタンを押す

EQ

2 バンドボタンを押して、「BASIC」を選ぶ

BND

ディスプレイに「BASIC」が表示されます。

ユーザーメモリーを呼び出すには...

バンドボタンを押して、「USER」を選んでください。

- バンドボタンを押すたびに、「BASIC」と「USER」が切り換わります。
- 「USER」に切り換えた後、ダイレクトボタンを押して、ユーザーメモリーを選んでください。

3 ダイレクトボタンを押して、P.EQメニューを選ぶ

1 7 2 8 3 9 4 10 5 11 6 12

- P.EQベーシックメニューについては次ページをご覧ください。

4 EQボタンを押して、元のモードに戻る

EQ

ご注意

プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

P.EQ効果をON/OFFする

下部ディスプレイに「EQ PRO」が表示されているときは、P.EQ効果が「ON」に設定されています。

- 初期設定は「ON」です。

P.EQ効果を「OFF」に設定していると、「P.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

EQボタンを押し続ける(約1秒間)

EQ

EQボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

P.EQベーシックメニューについて

本機には、あらかじめ車種およびスピーカー取付位置タイプに合わせた、6種類のベーシックP.EQメニューがメモリーされています。車種タイプとその設定値は、以下の通りです。

車種タイプ

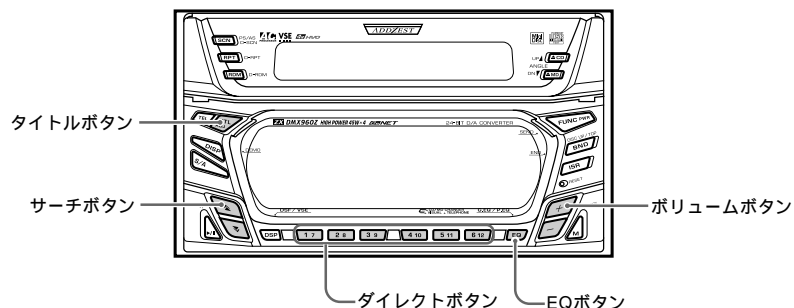
1.セダン-1(SEDAN-1)	フロント;2WAY	リア;リアバーセル
2.セダン-2(SEDAN-2)	フロント;FULL	リア;リアドア
3.ワゴン-1(WAGON-1)	フロント;2WAY	リア;ラゲージ横
4.ワゴン-2(WAGON-2)	フロント;FULL	リア;リアドア
5.ミニバン-1(MINI VAN-1)	フロント;2WAY	リア;ラゲージ横
6.ミニバン-2(MINI VAN-2)	フロント;FULL	リア;リアドア相当

車種タイプのフロントとリアは、スピーカーの取付位置を表しています。

ボタン (車種タイプ)	パラメトリックイコライザーパラメーター			
	チャンネル	バンド1	バンド2	バンド3
1	フロント	F=250Hz, Q=3, G=-8dB	F=2kHz, Q=1, G=-4dB	F=5kHz, Q=1, G=-4dB
(SEDAN-1)	リア	F=250Hz, Q=3, G=-10dB	F=1.25kHz, Q=5, G=0dB	F=8kHz, Q=5, G=0dB
2	フロント	F=250Hz, Q=7, G=-10dB	F=800Hz, Q=3, G=-4dB	F=8kHz, Q=1, G=-5dB
(SEDAN-2)	リア	F=80Hz, Q=7, G=+3dB	F=125Hz, Q=5, G=-12dB	F=1.25kHz, Q=5, G=0dB
3	フロント	F=250Hz, Q=3, G=-8dB	F=1kHz, Q=3, G=-8dB	F=10kHz, Q=1, G=-6dB
(WAGON-1)	リア	F=250Hz, Q=3, G=-8dB	F=800Hz, Q=1, G=-8dB	F=8kHz, Q=5, G=0dB
4	フロント	F=250Hz, Q=7, G=-8dB	F=400Hz, Q=7, G=-10dB	F=1.25kHz, Q=7, G=-8dB
(WAGON-2)	リア	F=125Hz, Q=3, G=-8dB	F=500Hz, Q=5, G=-5dB	F=1.6kHz, Q=3, G=0dB
5	フロント	F=125Hz, Q=5, G=-4dB	F=1.25kHz, Q=3, G=-4dB	F=2kHz, Q=7, G=+3dB
(MINI VAN-1)	リア	F=250Hz, Q=1, G=-6dB	F=630Hz, Q=3, G=-4dB	F=8kHz, Q=5, G=0dB
6	フロント	F=250Hz, Q=3, G=-4dB	F=1.25kHz, Q=3, G=-8dB	F=80Hz, Q=3, G=+3dB
(MINI VAN-2)	リア	F=250Hz, Q=3, G=-8dB	F=500Hz, Q=5, G=-5dB	F=8kHz, Q=5, G=0dB

F;中心周波数、Q;Qカーブ、G;ゲイン(出力レベル)

■ P.EQの操作(プロモード))



P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

1 P.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするP.EQメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



3 サーチボタンの ▲ または ▼ を押し、調整項目を選ぶ



調整項目

FRONT/REAR	チャンネル(フロント/リア)
BAND	バンド(1~3)
FREQUENCY	周波数(20Hz~20kHz)
GAIN	ゲイン(-12dB~+12dB)
Q	Qカーブ(1/3/5/7/20)

詳しくは、次ページの「P.EQの調整について」をご覧ください。

4 ボリュームボタンの+または-を押して、調整する



5 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す



6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ユーザーメニューにメモリーされます。

・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「VSE/EQメニューにタイトルをつける」(56ページ)をご覧ください。

7 EQボタンを押して、元のモードに戻る



P.EQの調整について

ベーシックP.EQメニューを基に、ご自分の車に合わせて周波数特性を補正することができます。また、補正した周波数特性を6種類メモリーできます。

P.EQメニューの調整内容は、以下の通りです。

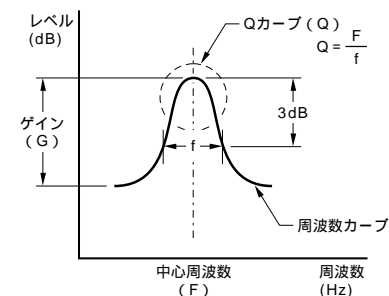
- ・チャンネルの選択(FRONT/REAR)
補正したいチャンネル(フロントまたはリア)を選びます。
- ・中心周波数の選択(FREQUENCY)
補正したい中心となる周波数を20Hz~20kHz範囲から選びます。
(1/3オクターブステップ、31ポイント)
- ・Qカーブの選択(Q)
Qカーブの鋭さを1、3、5、7、20のいずれかに設定します。
- ・ゲインの調整(GAIN)
ゲイン(出力レベル)を-12dB ~ +12dBの範囲で調整します。
(1dBステップ、25ポイント)

補正について

周波数特性を測定器で測ったときに、周波数特性が平坦(周波数特性に山や谷が無い状態)であれば、補正の必要はありませんが、周波数特性が部分的に持ち上がっていたり、下がっていることがあります。このようなときに、部分的に持ち上がったり下がったりしている部分の中心周波数に合わせて、逆の特性の周波数カーブをつくります。こうすることで周波数特性が補正され、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。このように、周波数特性をできるだけ平坦にすることが補正です。

・周波数特性の補正について

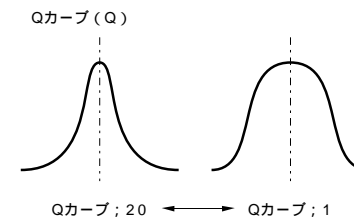
中心周波数、Qカーブ(Q)、ゲインの関係は、下図をご覧ください。



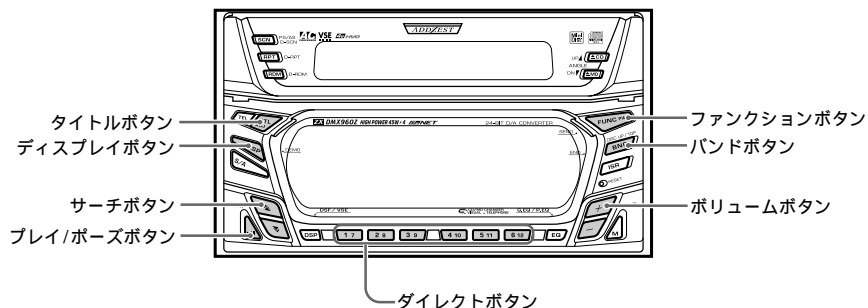
・Qカーブ(Q)について

Qカーブ(Q)は、数値を大きく設定すると鋭く、数値を小さく設定すると緩やかなカーブになります。

補正したい周波数カーブと逆のQカーブ(Q)を選ぶことで、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。



■ タイトルをつける



8 手順5～7を繰り返して、タイトルを入力する

ダイレクトボタン(17)を押すと、カーソル位置にスペースが入ります。

ダイレクトボタン(28)を押すと、文字入力位置の文字が消えます。

9 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトルがメモリーされると、元のモードに戻ります。

タイトルメモリーがいっぱいになると...

- ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

イージーインプットをする

イージーインプットについて...

本機は、チューナー(TV)エリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「USER TITLE」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナー(TV)タイトルは全て消去されます。

1 ラジオ(またはTV)モードにして、タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



2 サーチボタンの▲または▼を押して、「TUNER AREA PUSH ENT」を選ぶ



- TVモードのときは、「TV AREA PUSH ENT」を選んでください。

3 プレイ/ポーズボタンを押す



4 ボリュームボタンの+または-を押して、コピーしたい受信エリアを選ぶ



5 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



- 受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)」(65ページ)TVエリアを設定する(TV AREA)」(66ページ)をご覧ください。

6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



タイトルを削除する

1 ファンクションボタンを押して、モードを選ぶ(ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー)



2 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信するまたはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする



上部ディスプレイにユーザータイトルが表示されます。

4 タイトルボタンを押す



タイトル入力表示になります。

5 バンドボタンを押す



タイトルが消えます。

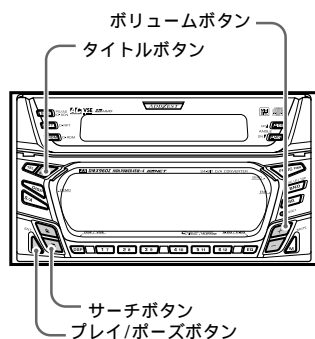
6 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトルが削除されて次のように表示します。

- ラジオ/TVモードのとき: 「U NO-TITLE」
- CD/CDチェンジャーモードのとき: 「U NO-TITLE」

設定を変更する(アジャストモード)



設定項目を選ぶ

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



上部ディスプレイに「EXTRA OUT ▶ OFF」を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチボタンの▲または▼を押して、設定する項目を選ぶ



• サーチボタンの▲または▼を押すたびに、右図のように切り換わります。(接続していない機器の設定項目は表示されません。)

3 項目名の末尾に「PUSH ENT」があるときは、プレイ/ポーズボタンを押して設定内容を表示させる



元のモードに戻すには...
タイトルボタンを押してください。

- エクストラアウトの調整 (エクストラアウトの設定がONのときに表示)
EXTRA VOL ▶ 0
- エクストラアウトの設定
EXTRA OUT ▶ OFF
- ACプロセッサの設定(45ページ参照)
AC-PROCESSR ▶ STD
- リスニングポジションの設定(30ページ参照)
POSITION PUSH **ENT**
- スペアナ感度の設定
ANA SENS ▶ MID
- スペアナ表示の速さを設定
ANA SPEED ▶ HIGH
- メッセージ表示の設定
MESSAGE ▶ ON
- ビープ音の設定
BEEP ▶ ON
- タイトルスクロール方法の設定
AUTO-SCROLL ▶ ON
- FMダイバーシティの設定
FM DIVER ▶ ON
- チューナーエリアの設定
TUNER AREA PUSH **ENT**
- TVダイバーシティの設定(TV接続時に表示)
TV DIVER ▶ ON
- TVエリアの設定(TV接続時に表示)
TV AREA PUSH **ENT**
- 電話の出力スピーカーを設定(TEL-LINKユニット接続時に表示)
TEL-SPEAKER ▶ LEFT
- 時刻の設定(28ページ参照)(ナビゲーション接続時)
CLOCK ADJ PUSH **ENT** は表示されません)
- 時計/モード表示の設定
DISP SELECT ▶ CLOCK

エクストラアウト出力の音量を調整する(EXTRA VOL)

エクストラアウト出力の調整について...

エクストラアウト出力の設定を「ON」にしないと、エクストラアウト出力音量は調整できません。

• 初期設定は、「0」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



2 サーチボタンの▲または▼を押して、「EXTRA VOL」を選ぶ



3 ボリュームボタンの+または-を押して、出力音量を調整する



• エクストラアウト出力の音量調整範囲は、- 5 ~ + 5です。

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



エクストラアウト出力を設定する(EXTRA OUT)

エクストラアウト出力について...

RCAピンケーブルのリア/エクストラアウト出力の設定をエクストラアウトに変更することができます。

• 初期設定は、「OFF」です。このときのRCAピンケーブルのリア/エクストラアウト出力はリアに設定されています。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



2 サーチボタンの▲または▼を押して、「EXTRA OUT」を選ぶ



3 ボリュームボタンの+または-を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



• ON : RCAピンケーブル リア/エクストラアウト出力を「エクストラアウト」に設定します。
• OFF : RCAピンケーブル リア/エクストラアウト出力を「リア」に設定します。

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する（アジャストモード）

スペクトラムアナライザーの感度を設定する(ANA SENS)

スペクトラムアナライザー感度 (SENSITIVITY) について...

スペアナ感度は、パターン表示の感度です。本機は、5種類(HIGH,MID-H,MID,MID-L,LOW)の感度に切り換えることができます。

- 初期設定は、「MID」です。
- スペアナ感度を切り換えることによって、音量が変わることはありません。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



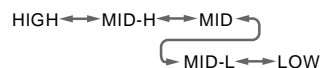
- 2 サーチボタンの▲または▼を押して、「ANA SENS」を選ぶ



- 3 ボリュームボタンの+または-を押して、感度を選ぶ



スペアナ感度は次のように切り換わります。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



スペアナ表示の速さを設定する(ANA SPEED)

スペアナ表示の速さについて...

スペアナ表示の速さは、スペアナが上下する時の反応の速さです。3種(HIGH,MID,LOW)の速さに切り換えることができます。

- 初期設定は、「HIGH」です。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの▲または▼を押して、「ANA SPEED」を選ぶ



- 3 ボリュームボタンの+または-を押して、スペアナ表示の速さを設定する



スペアナ表示の速さは次のように切り換わります。

HIGH ↔ MID ↔ LOW

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



メッセージを表示させる(MESSAGE)

メッセージ表示機能について...

電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。

本機では、お好みに合わせてこれらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

- 初期設定は、「ON」です。
- 設定をONにすると、電源を入れたときに「welcome to...」、「ADDZEST」
- 電源を切ったときに「good bye!」、「thank you」を表示します。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの▲または▼を押して、「MESSAGE」を選ぶ



- 3 ボリュームボタンの+または-を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)

ピープ音について...

操作時になる「ピッ」という音をピープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

- 初期設定は、「ON」です。
- 「OFF」に設定しても、スローコンソールが自動的に閉まるときは、事故防止のためピープ音が鳴ります。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの▲または▼を押して、「BEEP」を選ぶ



- 3 ボリュームボタンの+または-を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する (アジャストモード)

タイトルスクロール方法を設定する (AUTO-SCROLL)

タイトルスクロールについて...
タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。
• 初期設定は、「ON」です。

- 1 タイトルボタンを押し続け (約1秒間) て、アジャストモードにする



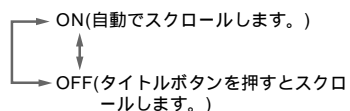
- 2 サーチボタンの ▲ または ▼ を押して、「AUTO-SCROLL」を選ぶ



- 3 ボリュームボタンの + または - を押して、スクロール方法を設定する



押すたびに、次のように表示が切り換わります。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



FMダイバーシティを設定する (FM DIVER)

FMダイバーシティについて...
FM放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。
• 初期設定は「ON」です。車側のアンテナが1本のときには「OFF」に設定してください。

ご注意

設定を間違えるとノイズが発生する原因となります。

- 1 タイトルボタンを押し続け (約1秒間) て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの ▲ または ▼ を押して、「FM DIVER」を選ぶ



- 3 ボリュームボタンの + または - を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



チューナーエリアを設定する (TUNER AREA)

チューナーエリアについて...
チューナーエリア (ラジオを受信する地域) を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。
• 初期設定は、「コウイキ カントウ (広域 関東)」です。
• オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE (タイトル入力された放送局名)」にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(57ページ)をご覧ください。

- 1 タイトルボタンを押し続け (約1秒間) て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの ▲ または ▼ を押して、「TUNER AREA」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



- 4 ボリュームボタンの + または - を押して、チューナーエリアを選ぶ



ボタンを押すたびに、エリアが切り換わります。エリアは右上図の11種類から選ぶことができます。

- 5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



チューナーエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

イージーインプット機能について...

チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続ける (2秒間) と、選択したチューナーエリアの放送局名が「USER TITLE」メモリーへ登録されます。

■ 設定を変更する（アジャストモード）

TVエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて...

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)

- 初期設定は、「カントウ」(関東)です。
 - オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」にしてください。
- また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(57ページ)をご覧ください。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの▲または▼を押して、「TV AREA」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



- 4 ボリュームボタンの+または-を押して、TVエリアを選ぶ



ボタンを押すたびに、エリアが切り換わります。エリアは右上図の22種類から選ぶことができます。

- 5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



TVエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

イージーインプット機能について...

テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)と、選択したテレビエリアの放送局名が「USER TITLE」メモリへ登録されます。

TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティーについて...

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

- 初期設定は「ON」です。TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「OFF」に設定し直してください。

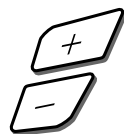
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの▲または▼を押して、「TV DIVER」を選ぶ



- 3 ボリュームボタンの+または-を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



電話の割り込みを設定する(TEL-SPEAKER)

電話の割り込み機能について...

本機と別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニットを接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声聞くことができます。さらに、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

- 初期設定は「LEFT」です。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの▲または▼を押して、「TEL-SPEAKER」を選ぶ



- 3 ボリュームボタンの+または-を押して、「LEFT」または「RIGHT」を選ぶ



ご注意

ハウリングを防止するため、右ハンドル車の時は左スピーカー(LEFT)に、左ハンドル車の時には右スピーカー(RIGHT)に設定してください。

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する（アジャストモード）

時計/モード表示を設定する (DISP SELECT)

時計/モード表示について...

下部ディスプレイ中央の時計/モード表示部のキャラクターをお好みに合わせて設定することができます。

• 初期設定は「CLOCK」です。

- 1** タイトルボタンを押し続け(約1秒間)で、アジャストモードにする



- 2** サーチボタンの ▲ または ▼ を押して、「DISP SELECT」を選ぶ



- 3** ボリュームボタンの + または - を押して、キャラクターを選ぶ

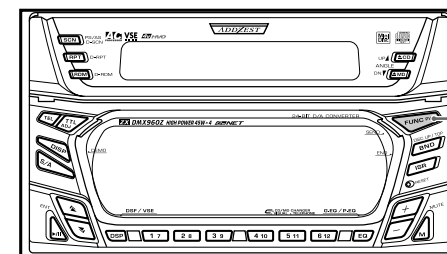


- CLOCK: 常時時計を表示します。
- MIX : 選択モードを表示後、時計を表示します。
- FUNC : 選択モードのアイコンを回転表示します。

- 4** タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



CD/MDチェンジャーの操作



ファンクション
ボタン

CDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

MDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET接続対応のMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

CD-ROMについて...

本機ではCD-ROMを操作できません。

ご注意

- CD-Rで記録されたCDは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDは使用できません。

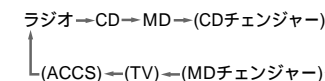
チェンジャーモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、CD(またはMD)チェンジャーモードを選ぶ



CD(またはMD)チェンジャーモードになると、自動的に演奏がはじまります。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

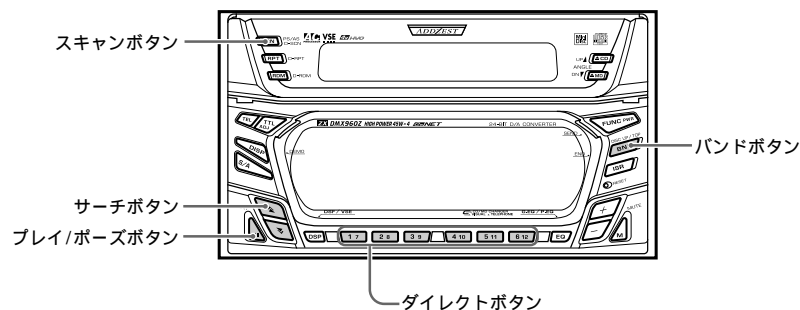


2台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは...

ファンクションボタンを押して、演奏するCD(またはMD)チェンジャーを選択してください。(ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。)

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO-MAGAZINE」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「NO DISC」と表示されます。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「NO DISC」と表示されます。
- タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える(33ページ)」をご覧ください。

CD/MDチェンジャーの操作



聴きたいCD(またはMD)を選ぶ

ダイレクトボタン(1 7 ~ 6 12)を押す



または、バンドボタンを押す



上部ディスプレイにディスクNo.等を表示して、演奏をはじめます。

- MDが入っていないとき、またはマガジンにCDが入っていないときは、ダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のCD(またはMD)をダイレクトボタンで選んだときは、そのCD(またはMD)の1曲目に戻って演奏します。

12枚CDチェンジャー接続時に、7~12のディスクを選ぶには...

ダイレクトボタン(1 7 ~ 6 12)を押し続けて(約1秒間)ください。

曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチボタンの▲を押す



▲を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

前の曲を聴くときは、サーチボタンの▼を2回押す



▼を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの▼を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることができます。

早送り/早戻しする

早送りするときは、サーチボタンの▲を押し続ける

早戻しするときは、サーチボタンの▼を押し続ける



演奏を止める(一時停止)

プレイ/ポーズボタンを押す



上部ディスプレイに「PAUSE」を点滅表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について...

ディスクの最初の曲(トラックNo.1)から演奏させる機能です。

1~6のディスクを演奏しているときは、演奏しているCD(またはMD)と同じ番号のダイレクトボタン(1 7 ~ 6 12)を押す
7~12のディスクを演奏しているときは、演奏しているCD(またはMD)と同じ番号のダイレクトボタン(1 7 ~ 6 12)を押し続ける(約1秒間)



- MDまたはマガジンにCDが入っていないディスクNo.のダイレクトボタンを押しても受け付けません。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

チェンジャー内のCD(またはMD)の全曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す



上部ディスプレイに「SCN」を表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。
いま演奏している曲から演奏します。

聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について...

チェンジャー内の全CD(またはMD)の最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



上部ディスプレイに「SCN」表示して、ディスクスキャン演奏をします。

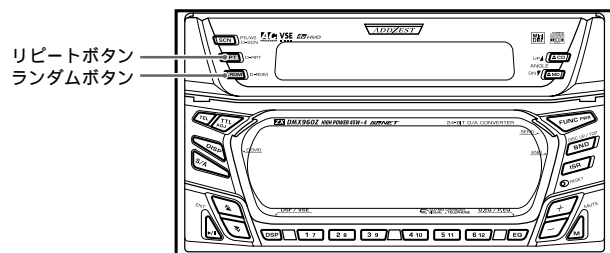
- ディスクスキャン演奏は、演奏しているCD(またはMD)の次のCD(またはMD)からはじまります。

ディスクスキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

いま演奏しているCD(またはMD)から演奏します。

■ CD/MDチェンジャーの操作




1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す



上部ディスプレイに「」表示し、下部ディスプレイに「RPT」を点灯して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

下部ディスプレイの「RPT」が消え、通常の演奏になります。


1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について...

演奏中のCD(またはMD)を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



上部ディスプレイに「」を表示し、下部ディスプレイに「DISC」と「RPT」に表示して、ディスクリピート演奏をします。

ディスクリピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

下部ディスプレイの「DISC」と「RPT」が消え、通常の演奏になります。


ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...

演奏中のCD(またはMD)の全曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す



上部ディスプレイに「」を表示し、下部ディスプレイに「RDM」を点灯して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

下部ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。


全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について...

チェンジャー内のCD(またはMD)の曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



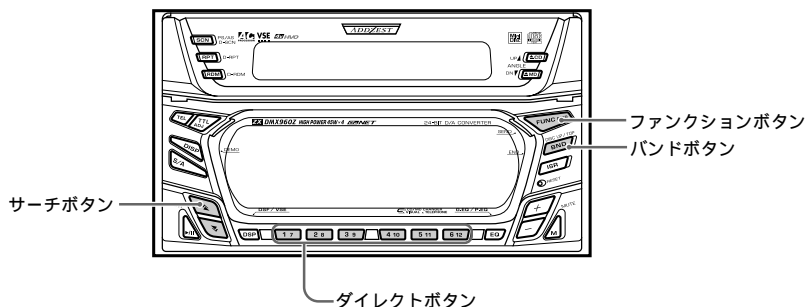
上部ディスプレイに「」を表示し、下部ディスプレイに「DISC」と「RDM」を点灯して、ディスクランダム演奏をします。

ディスクランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「DISC」と「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

テレビを見る



TVモードを選ぶ

TVチューナーコントロール機能について...

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。

TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。



警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

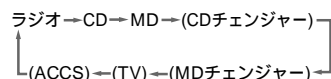
ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)」(67ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局名を表示させたいときは、「TVエリアを設定する(TV AREA)」(66ページ)で、受信エリアを設定してください。

ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ



ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

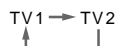


受信バンドを切り換える

バンドボタンを押してTV1またはTV2を選ぶ



バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。



自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、自動選局ができます。

2 サーチボタンの▲または▼を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチボタンの▲または▼を押して、放送のあるところに合わせる



プリセット選局する

プリセット選局について

あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

ダイレクトボタン(1~6 12)を押して、見たいTV局を選ぶ



上部ディスプレイにプリセットNo.を表示します。

- ・メモリーするときは、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

プリセットメモリーする

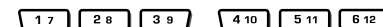
プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

1 サーチボタンの▲または▼を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

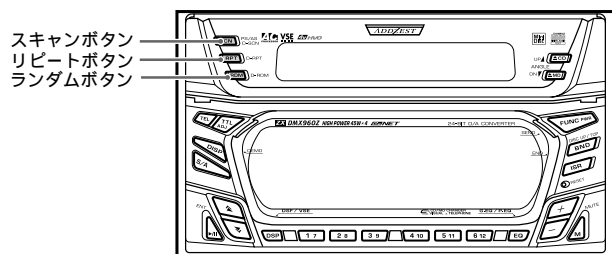


2 メモリーさせたいダイレクトボタン(1~6 12)を押し続ける(約2秒間)

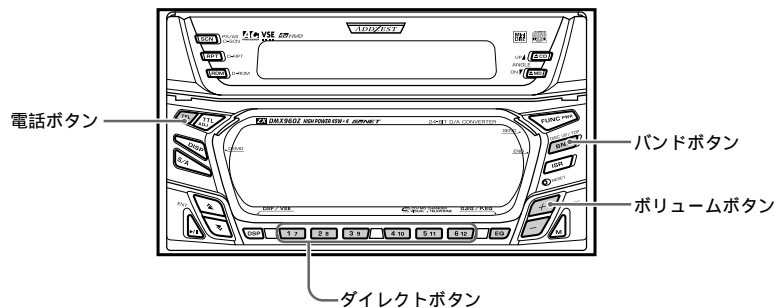


メモリーされると、上部ディスプレイにプリセットNo.を表示し、「ピー」と鳴ります。

■ テレビを見る

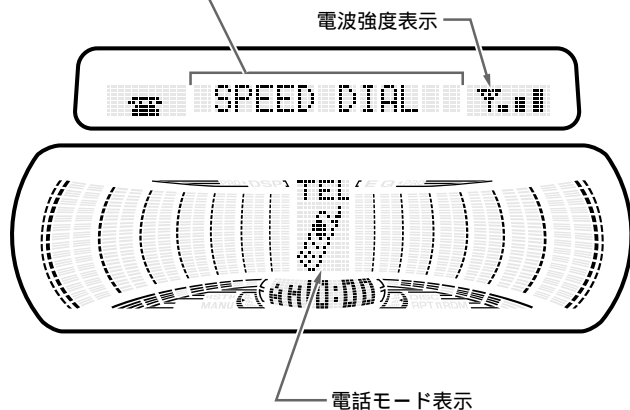


携帯電話機を操作する



電話モード時のディスプレイ表示

SPEED DIAL :スピードダイヤル検索中のとき
 TTS SEARCH :電話番号を検索中のとき
 REDIAL :リダイヤル検索のとき
 0338158155:発信/着信時の電話番号表示
 0h00:00 :通話時間(時、分、秒)表示
 CL Hakusan :スピードダイヤル検索時等の名前表示
 ☎ :三者間通話時
 ----- :その他の表示



電話をかける(スーパースピードダイヤル)

本機は、別販のオーディオコントロール付 TEL-LINK ユニットを接続することにより、携帯電話機による通話をコントロールすることができます。

TEL-LINKユニットに接続可能な、デジタル携帯電話については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

警告

運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。

ご注意

通話音声を出すスピーカーは、助手席側のスピーカーを指定してください。設定を間違えるとハンズフリー通話のときにハウリングを起こします。スピーカーの設定のしかたは、「電話の割込を設定する」(67ページ)をご覧ください。

1 電話ボタンを押す



上部ディスプレイに「SPEED DIAL」を表示して、電話モードに切り換わります。

2 ダイレクトボタン(1 7~6 12)を押す



携帯電話機のメモリーダイヤルを呼び出して、登録内容を音声で案内します。また、呼び出したメモリーダイヤルをディスプレイに表示して、自動で発信します。

- ファンクションボタンを押すと、即座にダイヤル発信します。
- 本機にメモリーされたメモリーダイヤル番号は変更できません。変更するときは、携帯電話側で変更してください。

3 電話ボタンを押して、元のモードに戻る



通話を終了するには...

バンドボタンを押してください。

通話音量を調整する

1 電話ボタンを押して、電話モードにする



2 ボリュームボタンの+または-を押して、通話音量を調整する



- 通話時にボリュームボタンの+または-を押して、調整することもできます。
- 調整した通話音量はメモリーされます。
- 電話モード時の通話音量は、オーディオ時の音量設定と異なります。

外部機器の操作

携帯用オーディオを聴く(アクセサリモード)

アクセサリモードにする

アクセサリモードについて...
別販の CeNET 結線対応 AUX 入力ユニット (EA-1155A) を接続して、市販のヘッドホンステレオなどの音楽ソースを聴くことができます。

ファンクションボタンを押す



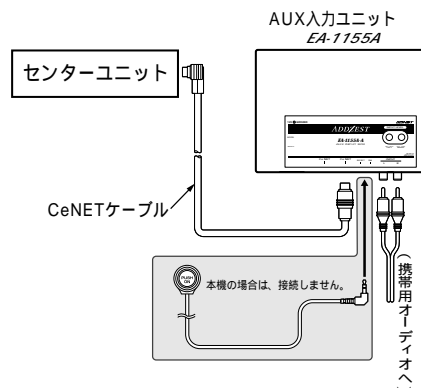
押すたびに、次のように切り換わります。
アクセサリモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。

ラジオ→CD→MD→(CDチェンジャー)→
(ACCS)→(TV)→(MDチェンジャー)→

元のモードに戻すには...
ファンクションボタンを押してください。

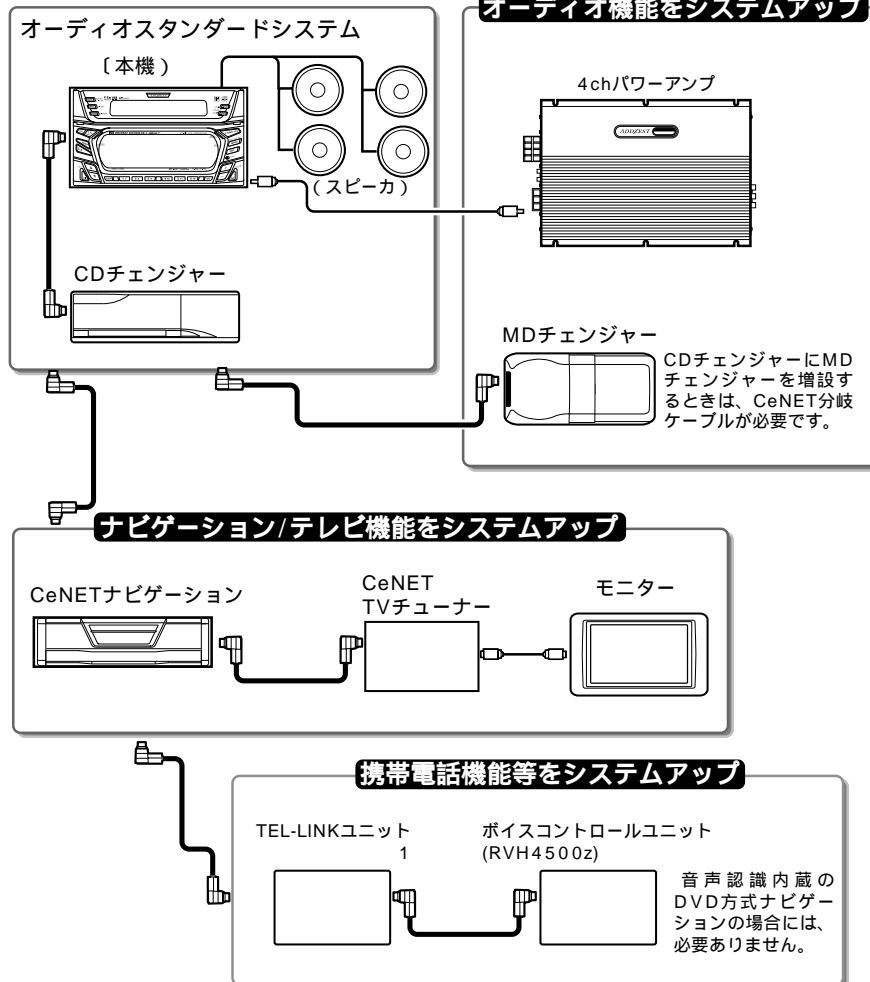
AUX 入力ユニット接続のしかた

本機の場合には、AUX 入力ユニットに付属のリードスイッチを接続する必要はありません。



システムアップについて

本機は **CeNET** マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



1. TEL-LINKユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。
2. システムアップおよびそれに必要な CeNET ケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

- ：CeNETケーブルで結線します。
(2)
CeNETケーブルの最大配線長は20m以下です。システムを拡張するときは、次ページの「CeNETケーブルについて」のケーブル長をご確認ください。
- ：RCAピンケーブルまたは専用の接続ケーブルで結線します。
(2)

その他

■ システムアップについて

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下（CeNET分岐ケーブルCCA-519含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

CeNET 接続ケーブル長一覧表


CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CDチェンジャー	5m <オス オス>
CeNET MDチェンジャー	5m <オス オス>
オーディオコントロール付TEL-LINKユニット	2.5m <オス オス>
RVH4500z (ボイスコントロールユニット)	2.5m <オス オス>
CeNET ナビゲーションシステム	5m <オス オス>
CeNET TVチューナー	5m <オス オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m <オス×2 メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス メス>

<> 内は、コネクタの形状を表しています。

■ 故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共 通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで押してください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラ ジ オ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
C D	CDがすぐ出してしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
M D	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出してしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上、シャッター板を右側にして入れてください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押してください。
そ の 他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

その他

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CDモード	ERROR2	CDデッキ内のCDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	CDデッキメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときに表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDデッキ内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときに表示し、CDをイジェクトします。 ブランクディスク(無録音)を入れた時に表示し、CDをイジェクトします。	CDを正しく入れ直してください。 録音されているCDと交換してください。
MDモード	ERROR2	MDデッキのメカが故障しているときの表示	MDデッキのメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	MDデッキ内のMDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときに表示し、MDをイジェクトします	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDデッキの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示 ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。 録音されているCDと交換してください。
	ERROR H	CDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	CDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

MDプレーヤー部

周波数特性	: 20Hz ~ 20kHz ± 2dB
SN比	: 110dB
ダイナミックレンジ	: 96dB
高調波ひずみ率	: 0.009%

CDプレーヤー部

周波数特性	: 5Hz ~ 20kHz ± 1dB
SN比	: 110dB
ダイナミックレンジ	: 100dB
高調波ひずみ率	: 0.005%

FMチューナー部

受信周波数	: 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度	: 9dBf
50dBクワイティンク感度	: 15dBf
SN比	: 70dB
周波数特性	: 30Hz ~ 15kHz ± 3dB
分離度	: 35dB (1kHz)
高調波ひずみ率(ステレオ)	: 0.3% (1kHz)

AMチューナー部

受信周波数	: 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度	: 28dB μ
SN比	: 50dB

DSP・EQ部

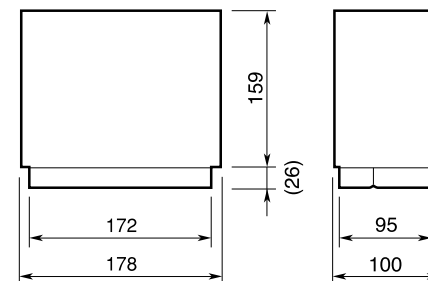
A/D変換	: 20bit 64倍オーバーサンプリング
D/A変換	: 24bit 128倍オーバーサンプリング アドバンストマルチビット
STD...D.S.F	: BASIC 5モード G.EQ 7バンド)
PRO...V.S.E	: BASIC 6モード/USER 6モード
P.EQ	: BASIC 6モード/USER 6モード

オーディオ部

定格出力	: 17W × 4 (20Hz ~ 20kHz, 1%, 4)
最大出力	: 45W × 4 (EIAJ)
適合スピーカーインピーダンス	: 4 (4 ~ 8)
ラインアウト出力レベル (CD 1kHz)	: 4V

共通部

電源電圧	: DC 14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3.0A (1W時)
ヒューズ定格	: 15A
外形寸法	: 178(W) × 100(H) × 185(D)mm [取付寸法: 159(D)mm]
質量	: 3.3kg



付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- サラネジ (M5 × 8) 8本
- セムス六角ボルト 8本

これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品

その他

■アフターサービスについて

保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

保証期間

お買い求めの日より1年間です。

万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。